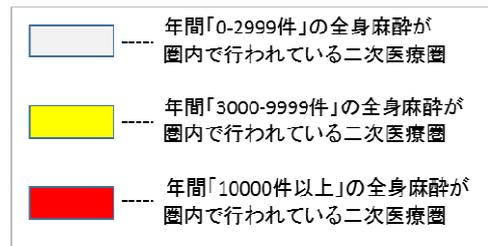
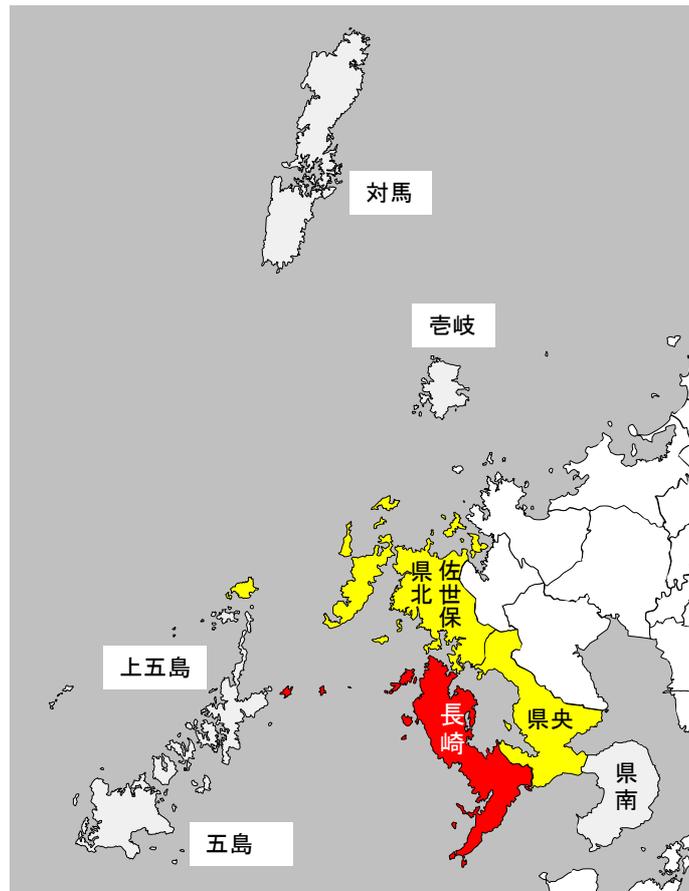


# 42. 長崎県



目次

長崎県 .....	42	-	3
1. 長崎医療圏 .....	42	-	9
2. 佐世保県北医療圏 .....	42	-	15
3. 県央医療圏 .....	42	-	21
4. 県南医療圏 .....	42	-	27
5. 五島医療圏 .....	42	-	33
6. 上五島医療圏 .....	42	-	39
7. 壱岐医療圏 .....	42	-	45
8. 対馬医療圏 .....	42	-	51

## 長崎県

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は167,747人(-11%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は626人(18%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は293人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は33%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

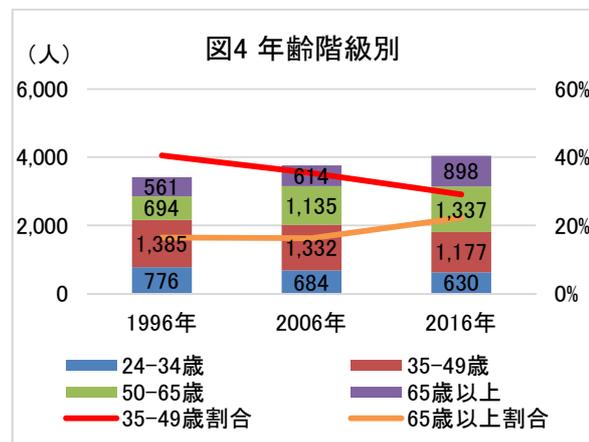
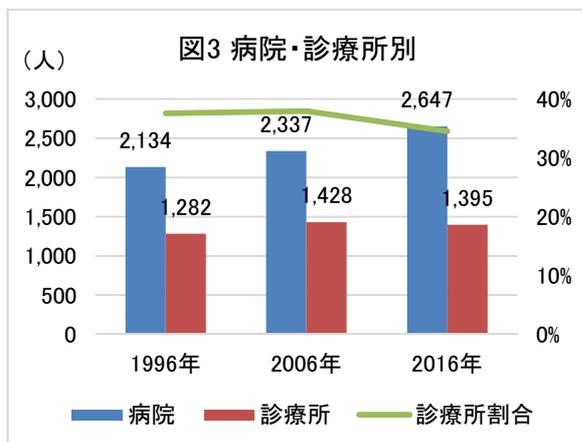
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて206人(7%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に420人(128%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は18%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて513人(24%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に113人(9%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は35%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は208人(-15%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて337人(60%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年16%、2016年22%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 長崎県

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,544,934	1,478,632	1,377,187	-167,747	-11%	-66,302	-4%	-101,445	-7%	
総医師数	3,595	3,977	4,218	623	17%	382	11%	241	6%	
人口10万対	232.7	269.0	306.3	73.6	32%	36.3	16%	37.3	14%	
医療施設勤務医師数	3,416	3,765	4,042	626	18%	349	10%	277	7%	
人口10万対	221.1	254.6	293.5	72.4	33%	33.5	15%	38.9	15%	
男性医師数	3,089	3,247	3,295	206	7%	158	5%	48	1%	
人口10万対	199.9	219.6	239.3	39.3	20%	19.7	10%	19.7	9%	
女性医師数	327	518	747	420	128%	191	58%	229	44%	
人口10万対	21.2	35.0	54.2	33.1	156%	13.9	66%	19.2	55%	
病院勤務医師数	2,134	2,337	2,647	513	24%	203	10%	310	13%	
人口10万対	138.1	158.1	192.2	54.1	39%	19.9	14%	34.2	22%	
診療所勤務医師数	1,282	1,428	1,395	113	9%	146	11%	-33	-2%	
人口10万対	83.0	96.6	101.3	18.3	22%	13.6	16%	4.7	5%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.8	49.8	52.4	4.7	10%	2.0	4%	2.6	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	776	684	630	-146	-19%	-92	-12%	-54	-8%
	35-49歳	1,385	1,332	1,177	-208	-15%	-53	-4%	-155	-12%
	50-64歳	694	1,135	1,337	643	93%	441	64%	202	18%
	65歳以上	561	614	898	337	60%	53	9%	284	46%
	75歳以上(再掲)	170	250	295	125	74%	80	47%	45	18%
男性	24-34歳	620	459	412	-208	-34%	-161	-26%	-47	-10%
	35-49歳	1,275	1,156	859	-416	-33%	-119	-9%	-297	-26%
	50-64歳	656	1,049	1,192	536	82%	393	60%	143	14%
	65歳以上	538	583	832	294	55%	45	8%	249	43%
	75歳以上(再掲)	160	233	275	115	72%	73	46%	42	18%
女性	24-34歳	156	225	218	62	40%	69	44%	-7	-3%
	35-49歳	110	176	318	208	189%	66	60%	142	81%
	50-64歳	38	86	145	107	282%	48	126%	59	69%
	65歳以上	23	31	66	43	187%	8	35%	35	113%
	75歳以上(再掲)	10	17	20	10	100%	7	70%	3	18%
病院	24-34歳	751	669	625	-126	-17%	-82	-11%	-44	-7%
	35-49歳	952	974	958	6	1%	22	2%	-16	-2%
	50-64歳	279	499	742	463	166%	220	79%	243	49%
	65歳以上	152	195	322	170	112%	43	28%	127	65%
	75歳以上(再掲)	61	70	103	42	69%	9	15%	33	47%
診療所	24-34歳	25	15	5	-20	-80%	-10	-40%	-10	-67%
	35-49歳	433	358	219	-214	-49%	-75	-17%	-139	-39%
	50-64歳	415	636	595	180	43%	221	53%	-41	-6%
	65歳以上	409	419	576	167	41%	10	2%	157	37%
	75歳以上(再掲)	109	180	192	83	76%	71	65%	12	7%
	85歳以上(再掲)	10	33	47	37	370%	23	230%	14	42%

## 長崎県

## ＜医師数の推移＞

長崎県において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、精神科、外科(総数)、整形外科、形成外科であり、少ない診療科は、小児外科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、心臓血管外科、放射線科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	3,416	221.1	55	3,765	254.6	56	4,042	293.5	56	626	18%	72.4	33%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	1,494	96.7	56	1,498	101.3	58	1,595	115.8	58	101	7%	19.1	20%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	182	11.8	52	184	12.4	52	211	15.3	54	29	16%	3.5	30%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	156	10.1	55	204	13.8	59	219	15.9	57	63	40%	5.8	57%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	475	30.7	61	409	27.7	64	401	29.1	64	-74	-16%	-1.6	-5%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	4	0.3	47	3	0.2	45	4	0.3	45	0	0%	0.0	12%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	22	1.4	49	30	2.0	50	37	2.7	51	15	68%	1.3	89%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	58	3.8	47	75	5.1	51	83	6.0	51	25	43%	2.3	61%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	236	15.3	54	271	18.3	57	306	22.2	60	70	30%	6.9	45%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	32	2.1	59	40	2.7	59	46	3.3	58	14	44%	1.3	61%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	99	6.4	53	120	8.1	56	116	8.4	53	17	17%	2.0	31%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	117	7.6	48	145	9.8	50	149	10.8	51	32	27%	3.2	43%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	105	6.8	49	114	7.7	52	107	7.8	52	2	2%	1.0	14%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	82	5.3	55	92	6.2	56	92	6.7	54	10	12%	1.4	26%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	176	11.4	53	163	11.0	55	167	12.1	54	-9	-5%	0.7	6%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	13	0.8	52	19	1.3	49	19	1.4	46	6	46%	0.5	64%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	59	3.8	52	77	5.2	55	94	6.8	54	35	59%	3.0	79%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	47	3.0	47	79	5.3	51	102	7.4	50	55	117%	4.4	143%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				11	0.7	46	34	2.5	50	23	209%	1.7	232%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				177	12.0	51	169	12.3	49	169	-5%	0.3	3%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	59	3.8	49	54	3.7	47	91	6.6	49	32	54%	2.8	73%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 長崎県

## ＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は259,435人(-19%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は201人(5%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は380人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は29%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

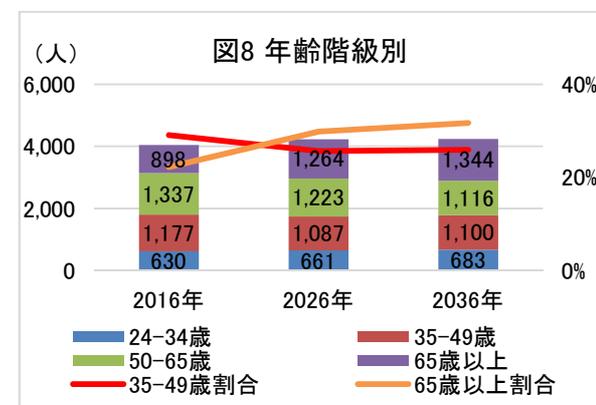
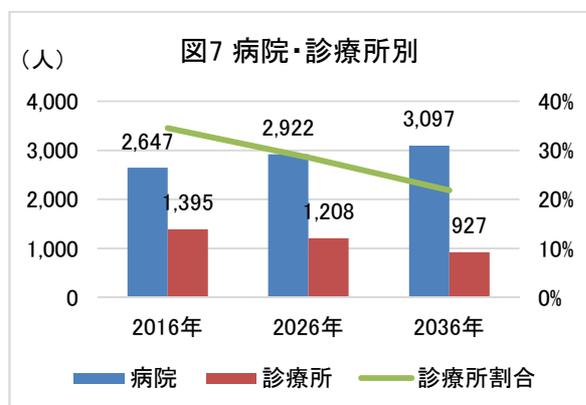
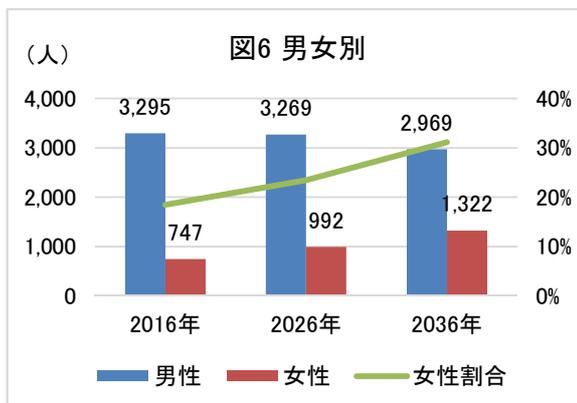
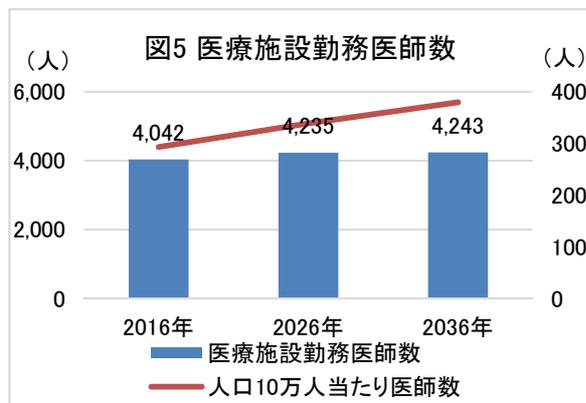
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて326人(-10%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に575人(77%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は31%と、全国平均(31%)と同程度である。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて450人(17%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に468人(-34%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は22%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は77人(-7%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて446人(50%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年22%、2036年32%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



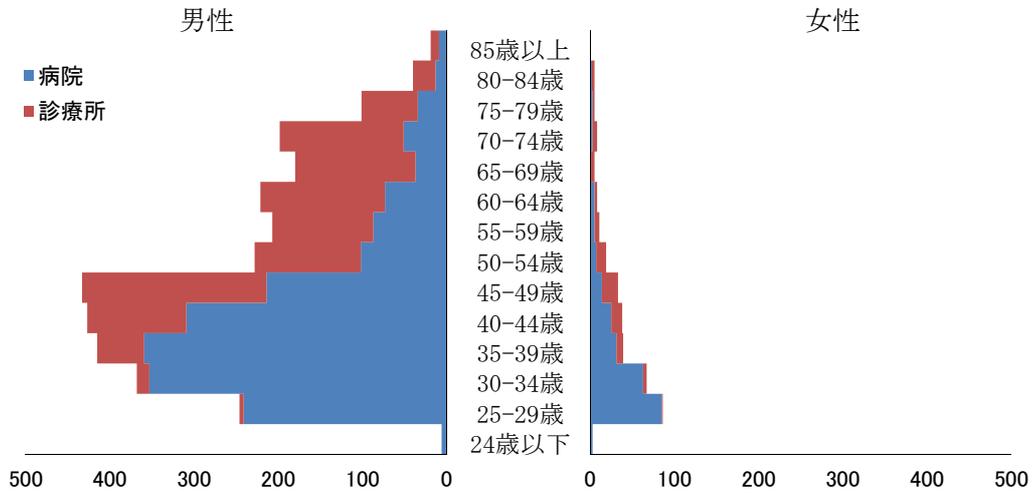
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

長崎県

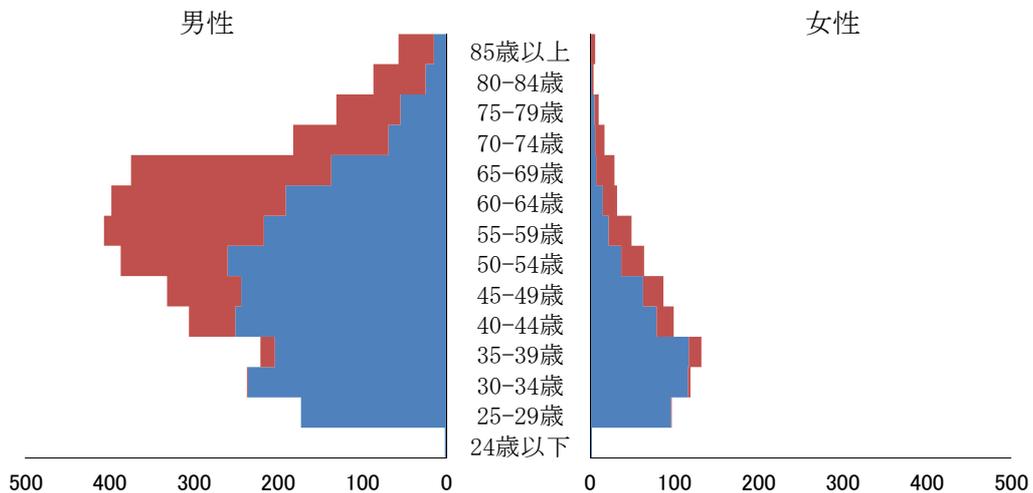
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

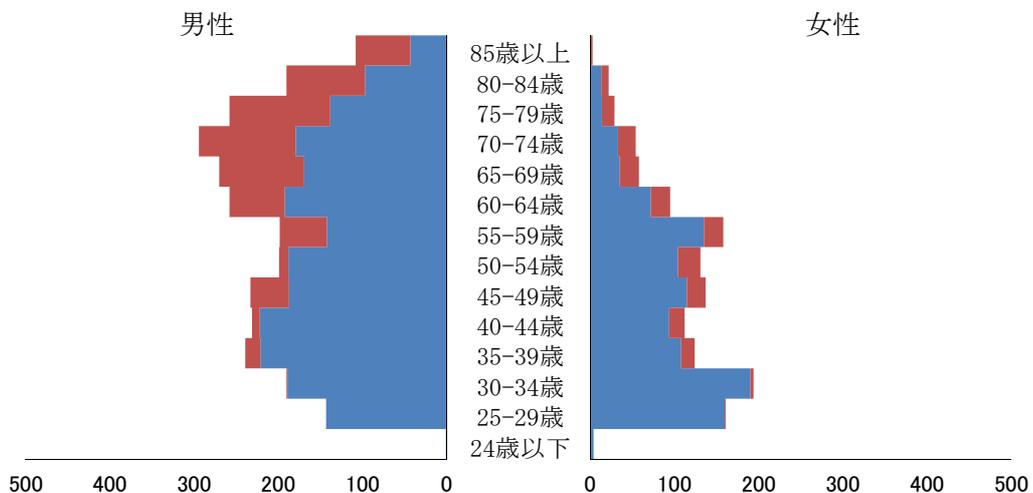
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 長崎県

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,377,187	1,250,016	1,117,752	-259,435	-19%	-127,171	-9%	-132,264	-11%	
医療施設勤務医師数	4,042	4,235	4,243	201	5%	193	5%	8	0%	
人口10万対	293.5	338.8	379.6	86.1	29%	45.3	15%	40.8	12%	
男性医師数	3,295	3,269	2,969	-326	-10%	-26	-1%	-300	-9%	
人口10万対	239.3	261.5	265.6	26.4	11%	22.3	9%	4.1	2%	
女性医師数	747	992	1,322	575	77%	245	33%	330	33%	
人口10万対	54.2	79.4	118.3	64.0	118%	25.1	46%	38.9	49%	
病院勤務医師数	2,647	2,922	3,097	450	17%	275	10%	175	6%	
人口10万対	192.2	233.8	277.1	84.9	44%	41.6	22%	43.3	19%	
診療所勤務医師数	1,395	1,208	927	-468	-34%	-187	-13%	-281	-23%	
人口10万対	101.3	96.6	82.9	-18.4	-18%	-4.7	-5%	-13.7	-14%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	630	661	683	53	8%	31	5%	22	3%
	35-49歳	1,177	1,087	1,100	-77	-7%	-90	-8%	13	1%
	50-64歳	1,337	1,223	1,116	-221	-17%	-114	-9%	-107	-9%
	65歳以上	898	1,264	1,344	446	50%	366	41%	80	6%
	75歳以上(再掲)	295	476	612	317	107%	181	61%	136	29%
男性	24-34歳	412	432	335	-77	-19%	20	5%	-97	-22%
	35-49歳	859	718	744	-115	-13%	-141	-16%	26	4%
	50-64歳	1,192	975	755	-437	-37%	-217	-18%	-220	-23%
	65歳以上	832	1,144	1,135	303	36%	312	38%	-9	-1%
	75歳以上(再掲)	275	431	538	263	96%	156	57%	107	25%
女性	24-34歳	218	230	357	139	64%	12	6%	127	55%
	35-49歳	318	392	372	54	17%	74	23%	-20	-5%
	50-64歳	145	258	401	256	177%	113	78%	143	55%
	65歳以上	66	112	192	126	191%	46	70%	80	71%
	75歳以上(再掲)	20	42	63	43	215%	22	110%	21	50%
病院	24-34歳	625	656	678	53	8%	31	5%	22	3%
	35-49歳	958	909	923	-35	-4%	-49	-5%	14	2%
	50-64歳	742	808	772	30	4%	66	9%	-36	-4%
	65歳以上	322	549	724	402	125%	227	70%	175	32%
	75歳以上(再掲)	103	186	305	202	196%	83	81%	119	64%
診療所	24-34歳	5	5	5	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	219	130	132	-87	-40%	-89	-41%	2	2%
	50-64歳	595	377	212	-383	-64%	-218	-37%	-165	-44%
	65歳以上	576	696	578	2	0%	120	21%	-118	-17%
	75歳以上(再掲)	192	288	315	123	64%	96	50%	27	9%
	85歳以上(再掲)	47	49	74	27	57%	2	4%	25	51%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 長崎医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は55,148人(-9%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は344人(20%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は387人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は33%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

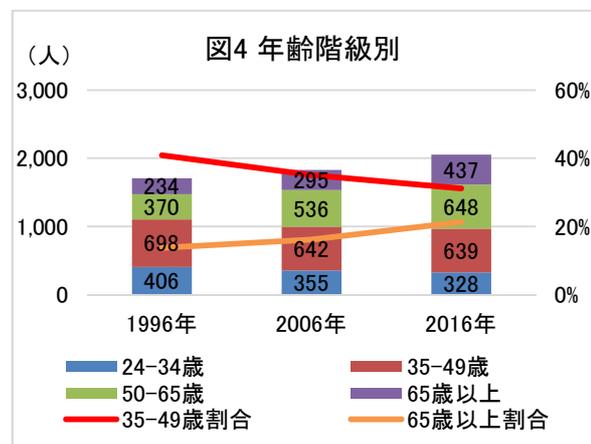
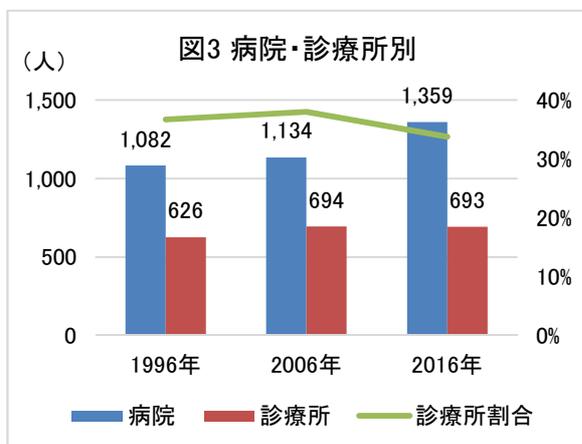
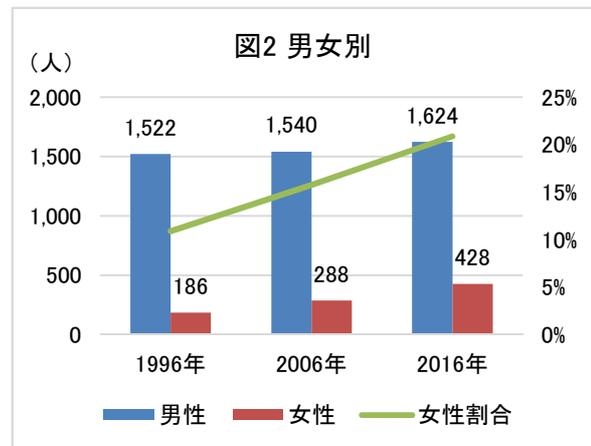
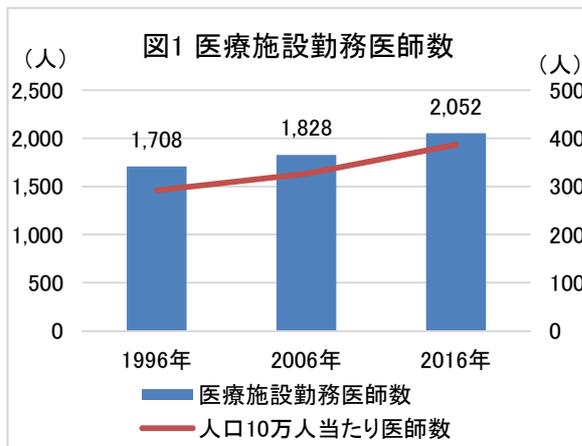
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて102人(7%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に242人(130%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は21%と、全国平均(21%)と同程度である。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて277人(26%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に67人(11%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は34%と、全国平均(34%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は59人(-8%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて203人(87%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年14%、2016年21%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 長崎医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	585,699	560,668	530,551	-55,148	-9%	-25,031	-4%	-30,117	-5%	
総医師数	1,845	1,974	2,177	332	18%	129	7%	203	10%	
人口10万対	315.0	352.1	410.3	95.3	30%	37.1	12%	58.2	17%	
医療施設勤務医師数	1,708	1,828	2,052	344	20%	120	7%	224	12%	
人口10万対	291.6	326.0	386.8	95.2	33%	34.4	12%	60.7	19%	
男性医師数	1,522	1,540	1,624	102	7%	18	1%	84	5%	
人口10万対	259.9	274.7	306.1	46.2	18%	14.8	6%	31.4	11%	
女性医師数	186	288	428	242	130%	102	55%	140	49%	
人口10万対	31.8	51.4	80.7	48.9	154%	19.6	62%	29.3	57%	
病院勤務医師数	1,082	1,134	1,359	277	26%	52	5%	225	20%	
人口10万対	184.7	202.3	256.1	71.4	39%	17.5	9%	53.9	27%	
診療所勤務医師数	626	694	693	67	11%	68	11%	-1	0%	
人口10万対	106.9	123.8	130.6	23.7	22%	16.9	16%	6.8	6%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.0	49.5	51.7	4.7	10%	2.5	5%	2.1	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	406	355	328	-78	-19%	-51	-13%	-27	-8%
	35-49歳	698	642	639	-59	-8%	-56	-8%	-3	0%
	50-64歳	370	536	648	278	75%	166	45%	112	21%
	65歳以上	234	295	437	203	87%	61	26%	142	48%
	75歳以上(再掲)	65	108	148	83	128%	43	66%	40	37%
男性	24-34歳	318	224	201	-117	-37%	-94	-30%	-23	-10%
	35-49歳	636	550	455	-181	-28%	-86	-14%	-95	-17%
	50-64歳	343	489	565	222	65%	146	43%	76	16%
	65歳以上	225	277	403	178	79%	52	23%	126	45%
	75歳以上(再掲)	62	100	136	74	119%	38	61%	36	36%
女性	24-34歳	88	131	127	39	44%	43	49%	-4	-3%
	35-49歳	62	92	184	122	197%	30	48%	92	100%
	50-64歳	27	47	83	56	207%	20	74%	36	77%
	65歳以上	9	18	34	25	278%	9	100%	16	89%
	75歳以上(再掲)	3	8	12	9	300%	5	167%	4	50%
病院	24-34歳	396	349	324	-72	-18%	-47	-12%	-25	-7%
	35-49歳	485	474	535	50	10%	-11	-2%	61	13%
	50-64歳	150	220	353	203	135%	70	47%	133	60%
	65歳以上	51	91	147	96	188%	40	78%	56	62%
	75歳以上(再掲)	16	29	49	33	206%	13	81%	20	69%
診療所	24-34歳	10	6	4	-6	-60%	-4	-40%	-2	-33%
	35-49歳	213	168	104	-109	-51%	-45	-21%	-64	-38%
	50-64歳	220	316	295	75	34%	96	44%	-21	-7%
	65歳以上	183	204	290	107	58%	21	11%	86	42%
	75歳以上(再掲)	49	79	99	50	102%	30	61%	20	25%
	85歳以上(再掲)	4	13	17	13	325%	9	225%	4	31%

## 長崎医療圏

## ＜医師数の推移＞

長崎医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、心臓血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、心臓血管外科、脳神経外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	1,708	291.6	63	1,828	326.0	65	2,052	386.8	66	344	20%	95.2	33%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	732	125.0	65	708	126.3	67	793	149.5	69	61	8%	24.5	20%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	89	15.2	59	79	14.1	56	94	17.7	58	5	6%	2.5	17%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	76	13.0	62	92	16.4	65	111	20.9	66	35	46%	7.9	61%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	228	38.9	70	204	36.4	76	200	37.7	76	-28	-12%	-1.2	-3%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	3	0.5	51	2	0.4	47	4	0.8	52	1	33%	0.2	47%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	12	2.0	53	16	2.9	55	21	4.0	58	9	75%	1.9	93%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	22	3.8	47	32	5.7	54	37	7.0	55	15	68%	3.2	86%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	116	19.8	64	130	23.2	67	154	29.0	73	38	33%	9.2	47%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	19	3.2	69	25	4.5	71	28	5.3	71	9	47%	2.0	63%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	64	10.9	66	67	12.0	68	65	12.3	64	1	2%	1.3	12%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	60	10.2	53	70	12.5	57	80	15.1	62	20	33%	4.8	47%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	58	9.9	58	58	10.3	61	56	10.6	60	-2	-3%	0.7	7%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	43	7.3	64	46	8.2	65	50	9.4	65	7	16%	2.1	28%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	83	14.2	60	79	14.1	62	81	15.3	61	-2	-2%	1.1	8%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	7	1.2	56	12	2.1	56	13	2.5	53	6	86%	1.3	105%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	29	5.0	55	35	6.2	58	49	9.2	61	20	69%	4.3	87%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	24	4.1	50	48	8.6	61	53	10.0	56	29	121%	5.9	144%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				3	0.5	44	13	2.5	50	10	333%	1.9	358%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				94	16.8	56	89	16.8	54	89	-5%	0.0	0%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	43	7.3	56	28	5.0	50	61	11.5	57	18	42%	4.2	57%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 長崎医療圏

## ＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は86,669人(-16%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は289人(14%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は527人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は36%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

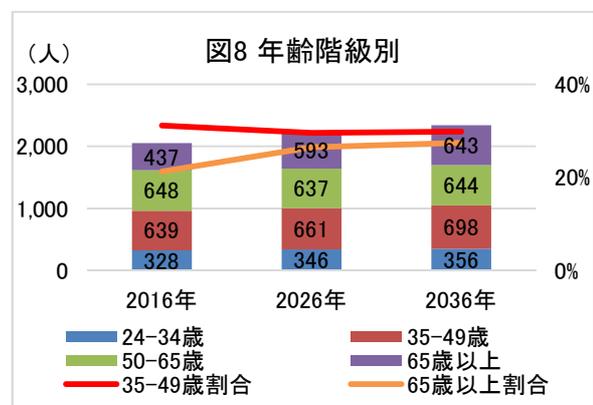
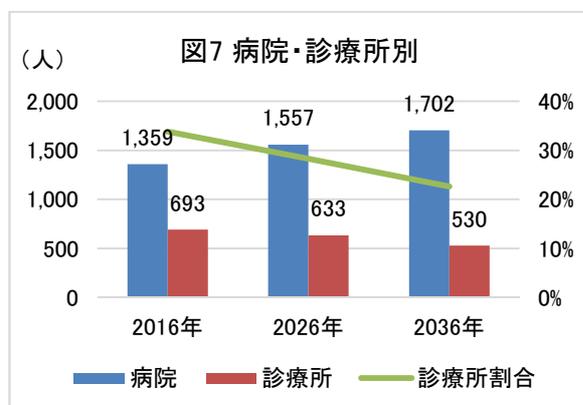
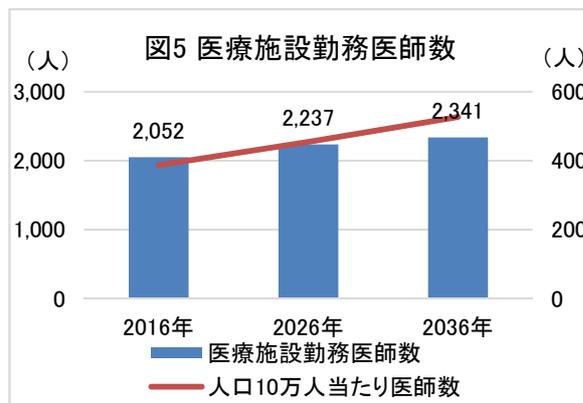
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて36人(-2%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に377人(88%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は34%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて343人(25%)増え、全国平均(25%)と同程度の増加率である。診療所医師は、同期間に163人(-24%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は23%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は59人(9%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて206人(47%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年21%、2036年27%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



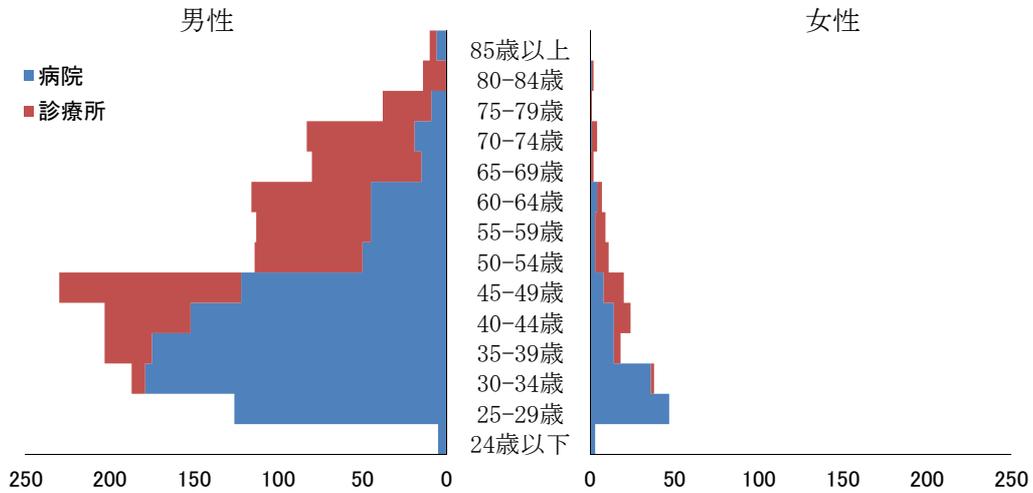
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 長崎医療圏

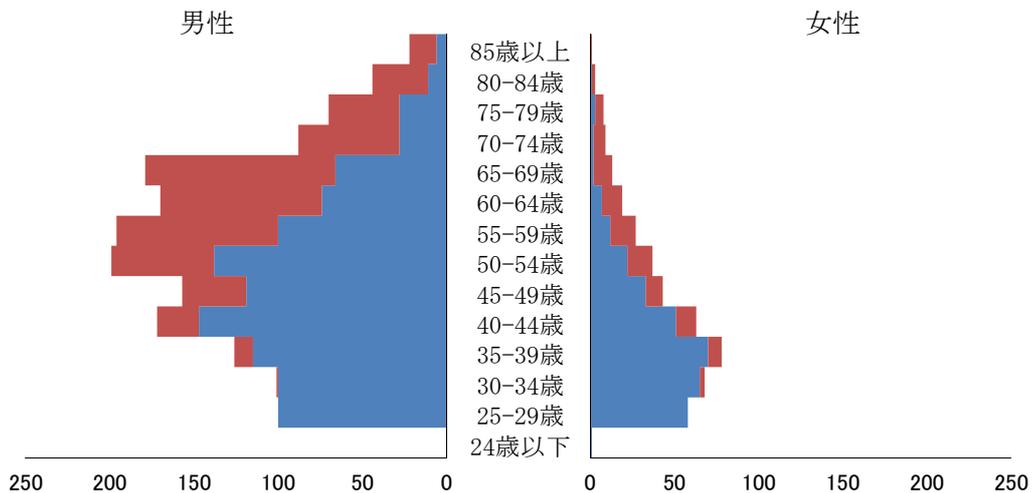
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

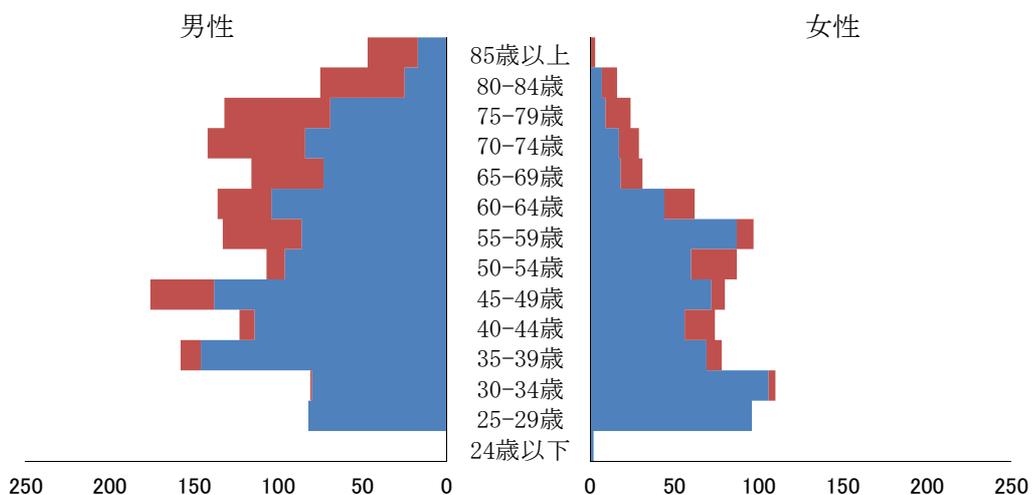
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 長崎医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	530,551	491,367	443,882	-86,669	-16%	-39,184	-7%	-47,485	-10%	
医療施設勤務医師数	2,052	2,237	2,341	289	14%	185	9%	104	5%	
人口10万対	386.8	455.3	527.4	140.6	36%	68.5	18%	72.1	16%	
男性医師数	1,624	1,666	1,588	-36	-2%	42	3%	-78	-5%	
人口10万対	306.1	339.1	357.8	51.7	17%	33.0	11%	18.7	6%	
女性医師数	428	585	805	377	88%	157	37%	220	38%	
人口10万対	80.7	119.1	181.4	100.7	125%	38.4	48%	62.3	52%	
病院勤務医師数	1,359	1,557	1,702	343	25%	198	15%	145	9%	
人口10万対	256.1	316.9	383.4	127.3	50%	60.7	24%	66.6	21%	
診療所勤務医師数	693	633	530	-163	-24%	-60	-9%	-103	-16%	
人口10万対	130.6	128.8	119.4	-11.2	-9%	-1.8	-1%	-9.4	-7%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	328	346	356	28	9%	18	5%	10	3%
	35-49歳	639	661	698	59	9%	22	3%	37	6%
	50-64歳	648	637	644	-4	-1%	-11	-2%	7	1%
	65歳以上	437	593	643	206	47%	156	36%	50	8%
	75歳以上(再掲)	148	234	292	144	97%	86	58%	58	25%
男性	24-34歳	201	213	164	-37	-18%	12	6%	-49	-23%
	35-49歳	455	431	470	15	3%	-24	-5%	39	9%
	50-64歳	565	490	416	-149	-26%	-75	-13%	-74	-15%
	65歳以上	403	532	538	135	33%	129	32%	6	1%
	75歳以上(再掲)	136	211	254	118	87%	75	55%	43	20%
女性	24-34歳	127	134	208	81	64%	7	6%	74	55%
	35-49歳	184	225	225	41	22%	41	22%	0	0%
	50-64歳	83	161	255	172	207%	78	94%	94	58%
	65歳以上	34	65	117	83	244%	31	91%	52	80%
	75歳以上(再掲)	12	26	46	34	283%	14	117%	20	77%
病院	24-34歳	324	342	352	28	9%	18	6%	10	3%
	35-49歳	535	559	592	57	11%	24	4%	33	6%
	50-64歳	353	420	440	87	25%	67	19%	20	5%
	65歳以上	147	236	318	171	116%	89	61%	82	35%
	75歳以上(再掲)	49	81	125	76	155%	32	65%	44	54%
診療所	24-34歳	4	4	4	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	104	92	94	-10	-10%	-12	-12%	2	2%
	50-64歳	295	185	142	-153	-52%	-110	-37%	-43	-23%
	65歳以上	290	352	290	0	0%	62	21%	-62	-18%
	75歳以上(再掲)	99	152	165	66	67%	53	54%	13	9%
	85歳以上(再掲)	17	21	33	16	94%	4	24%	12	57%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 佐世保県北医療圏

## ＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は42,388人(-12%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は20人(3%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は228人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は16%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

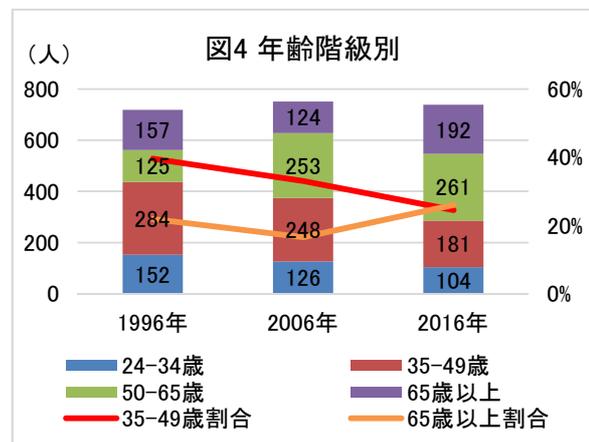
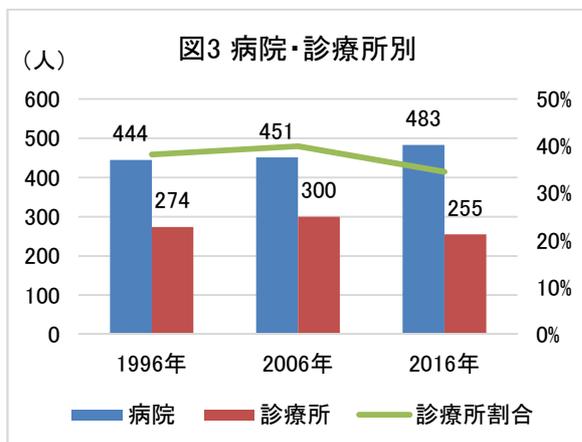
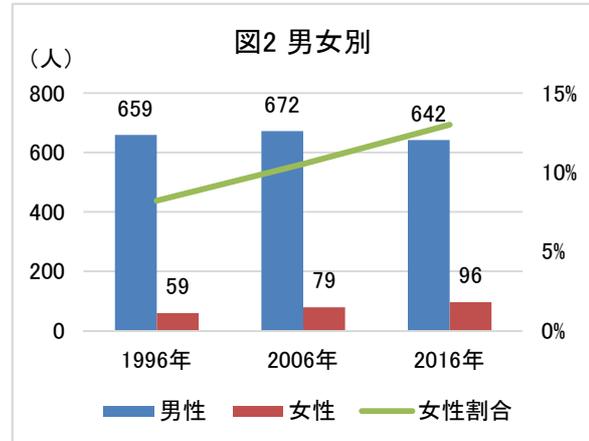
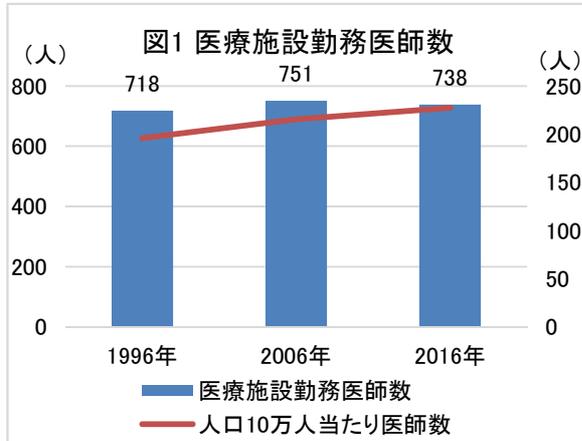
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて17人(-3%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に37人(63%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は13%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて39人(9%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に19人(-7%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は35%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は103人(-36%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて35人(22%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年22%、2016年26%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 佐世保県北医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	366,682	348,653	324,294	-42,388	-12%	-18,029	-5%	-24,359	-7%	
総医師数	732	783	752	20	3%	51	7%	-31	-4%	
人口10万対	199.6	224.6	231.9	32.3	16%	25.0	12%	7.3	3%	
医療施設勤務医師数	718	751	738	20	3%	33	5%	-13	-2%	
人口10万対	195.8	215.4	227.6	31.8	16%	19.6	10%	12.2	6%	
男性医師数	659	672	642	-17	-3%	13	2%	-30	-4%	
人口10万対	179.7	192.7	198.0	18.2	10%	13.0	7%	5.2	3%	
女性医師数	59	79	96	37	63%	20	34%	17	22%	
人口10万対	16.1	22.7	29.6	13.5	84%	6.6	41%	6.9	31%	
病院勤務医師数	444	451	483	39	9%	7	2%	32	7%	
人口10万対	121.1	129.4	148.9	27.9	23%	8.3	7%	19.6	15%	
診療所勤務医師数	274	300	255	-19	-7%	26	9%	-45	-15%	
人口10万対	74.7	86.0	78.6	3.9	5%	11.3	15%	-7.4	-9%	
医療施設勤務医 平均年齢	49.2	50.5	54.3	5.1	10%	1.3	3%	3.8	7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	152	126	104	-48	-32%	-26	-17%	-22	-17%
	35-49歳	284	248	181	-103	-36%	-36	-13%	-67	-27%
	50-64歳	125	253	261	136	109%	128	102%	8	3%
	65歳以上	157	124	192	35	22%	-33	-21%	68	55%
	75歳以上(再掲)	47	63	56	9	19%	16	34%	-7	-11%
男性	24-34歳	124	91	76	-48	-39%	-33	-27%	-15	-16%
	35-49歳	262	222	145	-117	-45%	-40	-15%	-77	-35%
	50-64歳	121	238	241	120	99%	117	97%	3	1%
	65歳以上	152	121	180	28	18%	-31	-20%	59	49%
	75歳以上(再掲)	44	61	55	11	25%	17	39%	-6	-10%
女性	24-34歳	28	35	28	0	0%	7	25%	-7	-20%
	35-49歳	22	26	36	14	64%	4	18%	10	38%
	50-64歳	4	15	20	16	400%	11	275%	5	33%
	65歳以上	5	3	12	7	140%	-2	-40%	9	300%
	75歳以上(再掲)	3	2	1	-2	-67%	-1	-33%	-1	-50%
病院	24-34歳	145	121	104	-41	-28%	-24	-17%	-17	-14%
	35-49歳	194	177	146	-48	-25%	-17	-9%	-31	-18%
	50-64歳	52	110	150	98	188%	58	112%	40	36%
	65歳以上	53	43	83	30	57%	-10	-19%	40	93%
	75歳以上(再掲)	21	17	30	9	43%	-4	-19%	13	76%
診療所	24-34歳	7	5	0	-7	-100%	-2	-29%	-5	-100%
	35-49歳	90	71	35	-55	-61%	-19	-21%	-36	-51%
	50-64歳	73	143	111	38	52%	70	96%	-32	-22%
	65歳以上	104	81	109	5	5%	-23	-22%	28	35%
	75歳以上(再掲)	26	46	26	0	0%	20	77%	-20	-43%
	85歳以上(再掲)	3	7	11	8	267%	4	133%	4	57%

## 佐世保県北医療圏

## ＜医師数の推移＞

佐世保県北医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、外科(総数)、脳神経外科であり、少ない診療科は、小児外科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、形成外科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、心臓血管外科、放射線科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	718	195.8	52	751	215.4	51	738	227.6	49	20	3%	31.8	16%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	326	88.9	54	306	87.8	53	291	89.7	50	-35	-11%	0.8	1%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	34	9.3	46	36	10.3	47	36	11.1	46	2	6%	1.8	20%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	28	7.6	49	37	10.6	52	35	10.8	47	7	25%	3.2	41%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	107	29.2	59	74	21.2	54	79	24.4	57	-28	-26%	-4.8	-17%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	2	0.5	43	6	1.7	48	7	2.2	48	5	250%	1.6	296%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	18	4.9	52	21	6.0	55	25	7.7	57	7	39%	2.8	57%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	45	12.3	48	56	16.1	53	55	17.0	50	10	22%	4.7	38%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	7	1.9	57	6	1.7	52	6	1.9	49	-1	-14%	-0.1	-3%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	17	4.6	48	24	6.9	52	19	5.9	46	2	12%	1.2	26%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	26	7.1	46	33	9.5	49	27	8.3	45	1	4%	1.2	17%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	19	5.2	45	25	7.2	51	23	7.1	49	4	21%	1.9	37%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	18	4.9	53	19	5.4	53	19	5.9	51	1	6%	0.9	19%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	36	9.8	50	30	8.6	48	30	9.3	48	-6	-17%	-0.6	-6%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	5	1.4	59	6	1.7	52	5	1.5	47	0	0%	0.2	13%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	13	3.5	51	17	4.9	54	20	6.2	53	7	54%	2.6	74%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	12	3.3	48	16	4.6	49	20	6.2	48	8	67%	2.9	88%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	5	1.5	45	5	5	1.5	1.5
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				30	8.6	47	21	6.5	43	21	-30%	-2.1	-25%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	5	1.4	43	9	2.6	45	15	4.6	45	10	200%	3.3	239%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 佐世保県北医療圏

## ＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は67,027人(-21%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は81人(-11%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は255人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は12%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

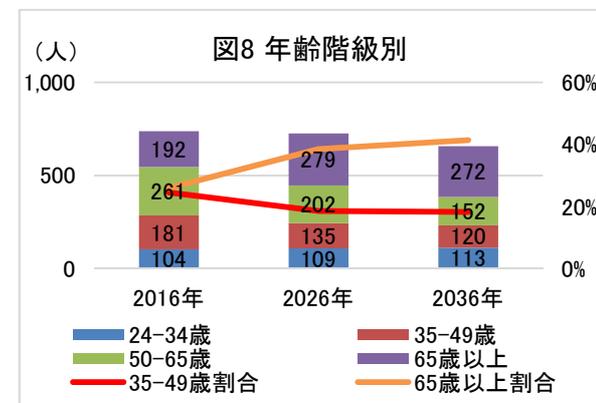
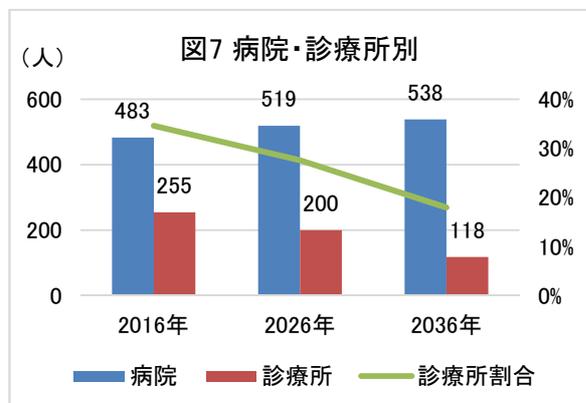
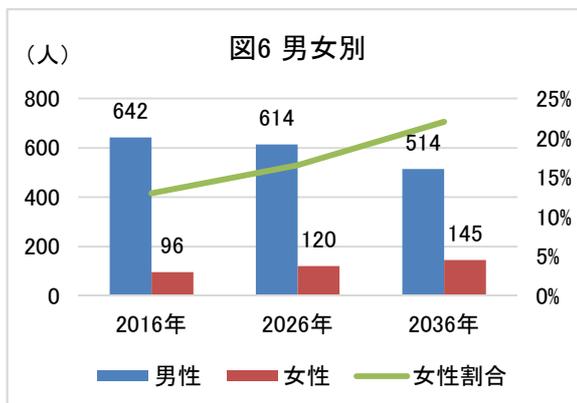
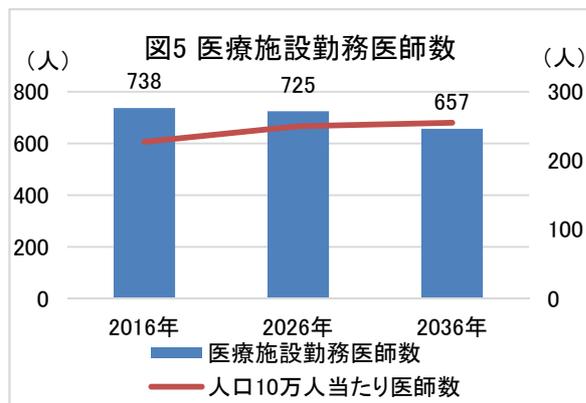
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて128人(-20%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に49人(51%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は22%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて55人(11%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に137人(-54%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は18%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は61人(-34%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて80人(42%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年26%、2036年41%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



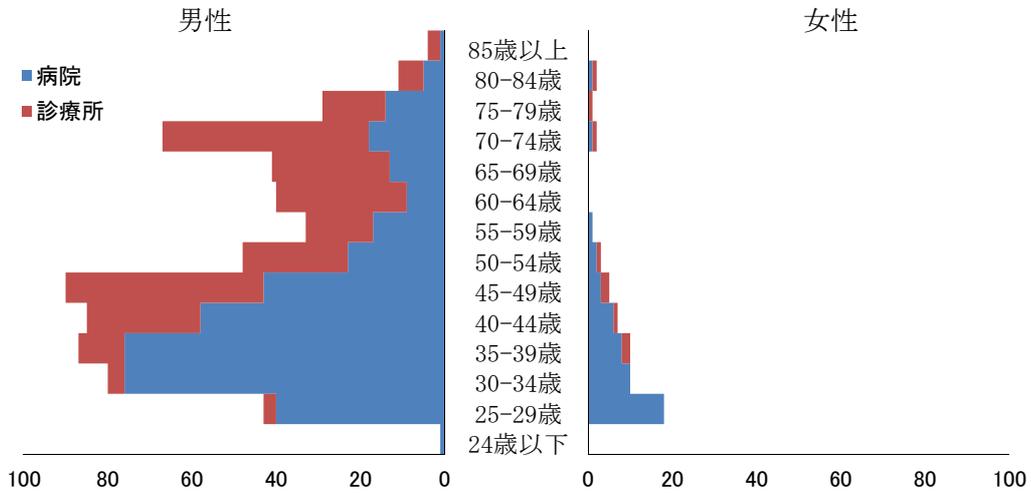
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 佐世保県北医療圏

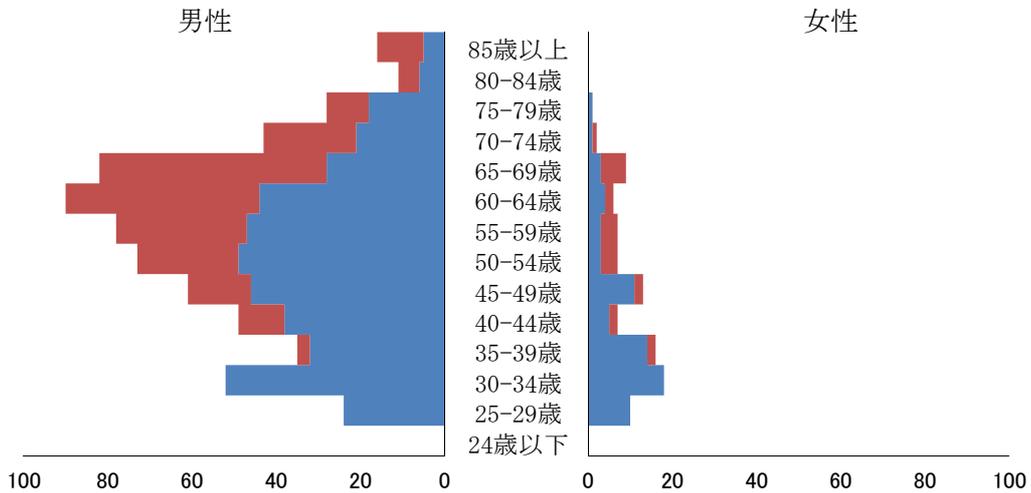
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

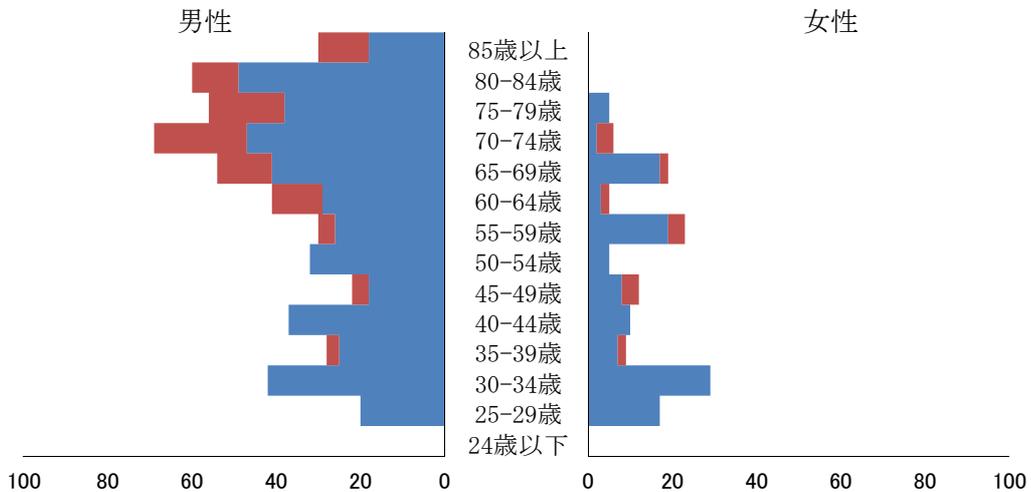
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 佐世保県北医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	324,294	289,589	257,267	-67,027	-21%	-34,705	-11%	-32,322	-11%	
医療施設勤務医師数	738	725	657	-81	-11%	-13	-2%	-68	-9%	
人口10万対	227.6	250.4	255.4	27.8	12%	22.8	10%	5.0	2%	
男性医師数	642	614	514	-128	-20%	-28	-4%	-100	-16%	
人口10万対	198.0	212.0	199.8	1.8	1%	14.1	7%	-12.2	-6%	
女性医師数	96	120	145	49	51%	24	25%	25	21%	
人口10万対	29.6	41.4	56.4	26.8	90%	11.8	40%	14.9	36%	
病院勤務医師数	483	519	538	55	11%	36	7%	19	4%	
人口10万対	148.9	179.2	209.1	60.2	40%	30.3	20%	29.9	17%	
診療所勤務医師数	255	200	118	-137	-54%	-55	-22%	-82	-41%	
人口10万対	78.6	69.1	45.9	-32.8	-42%	-9.6	-12%	-23.2	-34%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	104	109	113	9	9%	5	5%	4	4%
	35-49歳	181	135	120	-61	-34%	-46	-25%	-15	-11%
	50-64歳	261	202	152	-109	-42%	-59	-23%	-50	-25%
	65歳以上	192	279	272	80	42%	87	45%	-7	-3%
	75歳以上(再掲)	56	108	131	75	134%	52	93%	23	21%
男性	24-34歳	76	79	62	-14	-18%	3	4%	-17	-22%
	35-49歳	145	100	94	-51	-35%	-45	-31%	-6	-6%
	50-64歳	241	176	117	-124	-51%	-65	-27%	-59	-34%
	65歳以上	180	259	241	61	34%	79	44%	-18	-7%
	75歳以上(再掲)	55	100	120	65	118%	45	82%	20	20%
女性	24-34歳	28	29	45	17	61%	1	4%	16	55%
	35-49歳	36	43	30	-6	-17%	7	19%	-13	-30%
	50-64歳	20	26	38	18	90%	6	30%	12	46%
	65歳以上	12	22	32	20	167%	10	83%	10	45%
	75歳以上(再掲)	1	9	9	8	800%	8	800%	0	0%
病院	24-34歳	104	109	113	9	9%	5	5%	4	4%
	35-49歳	146	114	101	-45	-31%	-32	-22%	-13	-11%
	50-64歳	150	142	113	-37	-25%	-8	-5%	-29	-20%
	65歳以上	83	154	211	128	154%	71	86%	57	37%
	75歳以上(再掲)	30	60	110	80	267%	30	100%	50	83%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	35	12	12	-23	-66%	-23	-66%	0	0%
	50-64歳	111	59	21	-90	-81%	-52	-47%	-38	-64%
	65歳以上	109	129	85	-24	-22%	20	18%	-44	-34%
	75歳以上(再掲)	26	52	45	19	73%	26	100%	-7	-13%
	85歳以上(再掲)	11	6	12	1	9%	-5	-45%	6	100%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 県央医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は5,317人(2%)増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は257人(46%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は305人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は43%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

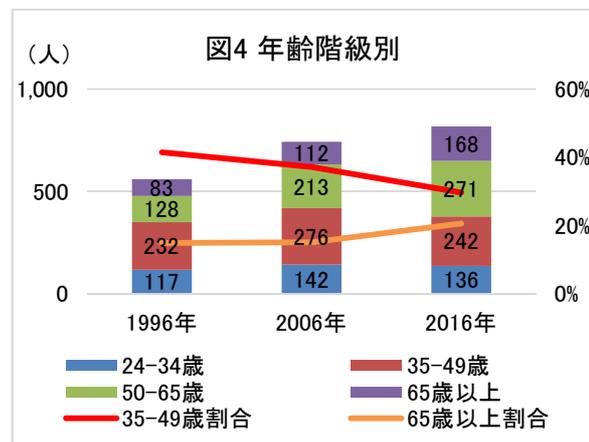
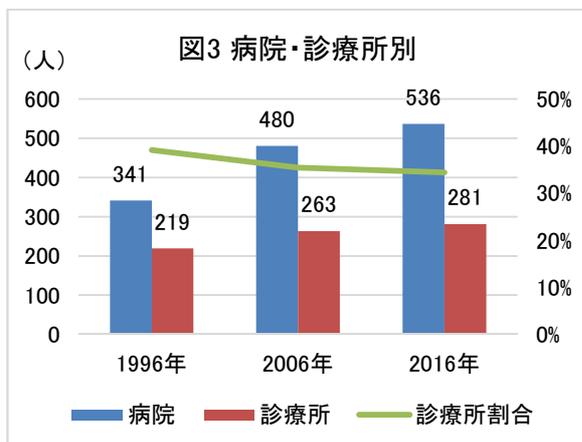
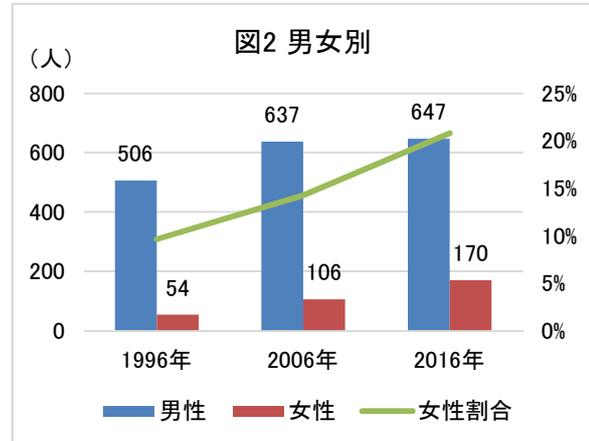
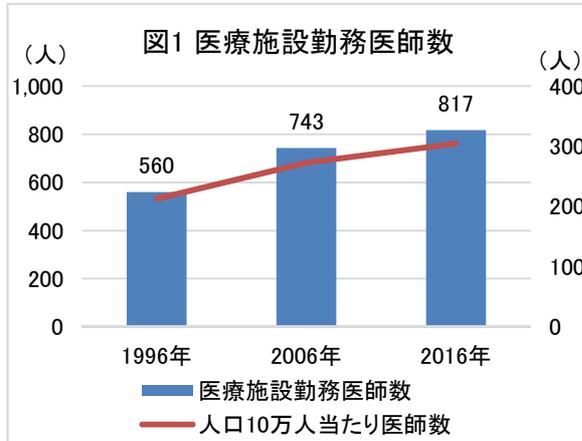
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて141人(28%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に116人(215%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は21%と、全国平均(21%)と同程度である。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて195人(57%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に62人(28%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は34%と、全国平均(34%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は10人(4%)増え、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて85人(102%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年15%、2016年21%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 県央医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	262,774	272,256	268,091	5,317	2%	9,482	4%	-4,165	-2%	
総医師数	574	755	836	262	46%	181	32%	81	11%	
人口10万対	218.4	277.3	311.8	93.4	43%	58.9	27%	34.5	12%	
医療施設勤務医師数	560	743	817	257	46%	183	33%	74	10%	
人口10万対	213.1	272.9	304.7	91.6	43%	59.8	28%	31.8	12%	
男性医師数	506	637	647	141	28%	131	26%	10	2%	
人口10万対	192.6	234.0	241.3	48.8	25%	41.4	22%	7.4	3%	
女性医師数	54	106	170	116	215%	52	96%	64	60%	
人口10万対	20.5	38.9	63.4	42.9	209%	18.4	89%	24.5	63%	
病院勤務医師数	341	480	536	195	57%	139	41%	56	12%	
人口10万対	129.8	176.3	199.9	70.2	54%	46.5	36%	23.6	13%	
診療所勤務医師数	219	263	281	62	28%	44	20%	18	7%	
人口10万対	83.3	96.6	104.8	21.5	26%	13.3	16%	8.2	9%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.8	48.8	51.9	4.1	9%	1.0	2%	3.0	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	117	142	136	19	16%	25	21%	-6	-4%
	35-49歳	232	276	242	10	4%	44	19%	-34	-12%
	50-64歳	128	213	271	143	112%	85	66%	58	27%
	65歳以上	83	112	168	85	102%	29	35%	56	50%
	75歳以上(再掲)	30	40	56	26	87%	10	33%	16	40%
男性	24-34歳	88	97	83	-5	-6%	9	10%	-14	-14%
	35-49歳	215	233	164	-51	-24%	18	8%	-69	-30%
	50-64歳	124	199	241	117	94%	75	60%	42	21%
	65歳以上	79	108	159	80	101%	29	37%	51	47%
	75歳以上(再掲)	27	38	54	27	100%	11	41%	16	42%
女性	24-34歳	29	45	53	24	83%	16	55%	8	18%
	35-49歳	17	43	78	61	359%	26	153%	35	81%
	50-64歳	4	14	30	26	650%	10	250%	16	114%
	65歳以上	4	4	9	5	125%	0	0%	5	125%
	75歳以上(再掲)	3	2	2	-1	-33%	-1	-33%	0	0%
病院	24-34歳	113	141	135	22	19%	28	25%	-6	-4%
	35-49歳	157	204	193	36	23%	47	30%	-11	-5%
	50-64歳	47	105	154	107	228%	58	123%	49	47%
	65歳以上	24	30	54	30	125%	6	25%	24	80%
	75歳以上(再掲)	12	13	11	-1	-8%	1	8%	-2	-15%
診療所	24-34歳	4	1	1	-3	-75%	-3	-75%	0	0%
	35-49歳	75	72	49	-26	-35%	-3	-4%	-23	-32%
	50-64歳	81	108	117	36	44%	27	33%	9	8%
	65歳以上	59	82	114	55	93%	23	39%	32	39%
	75歳以上(再掲)	18	27	45	27	150%	9	50%	18	67%
	85歳以上(再掲)	2	5	8	6	300%	3	150%	3	60%

## 県央医療圏

### ＜医師数の推移＞

県央医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、整形外科、形成外科、救急科、臨床研修医であり、少ない診療科は、小児外科、リハビリテーション科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、小児外科、リハビリテーション科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、形成外科、皮膚科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	560	213.1	54	743	272.9	58	817	304.7	57	257	46%	91.6	43%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	218	83.0	52	275	101.0	58	307	114.5	58	89	41%	31.6	38%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	43	16.4	62	51	18.7	66	64	23.9	69	21	49%	7.5	46%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	35	13.3	63	53	19.5	71	50	18.7	62	15	43%	5.3	40%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	74	28.2	58	77	28.3	65	71	26.5	60	-3	-4%	-1.7	-6%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	0.4	49	1	0.4	47	0	0.0	41	-1	-100%	-0.4	-100%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	8	3.0	60	7	2.6	53	9	3.4	55	1	13%	0.3	10%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	13	4.9	52	16	5.9	54	15	5.6	49	2	15%	0.6	13%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	39	14.8	54	50	18.4	57	53	19.8	56	14	36%	4.9	33%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	5	1.9	57	7	2.6	58	9	3.4	58	4	80%	1.5	76%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	14	5.3	50	19	7.0	53	24	9.0	55	10	71%	3.6	68%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	17	6.5	45	24	8.8	48	25	9.3	48	8	47%	2.9	44%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	19	7.2	51	21	7.7	52	21	7.8	52	2	11%	0.6	8%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	11	4.2	50	13	4.8	50	14	5.2	49	3	27%	1.0	25%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	31	11.8	54	24	8.8	49	32	11.9	53	1	3%	0.1	1%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.4	45	1	0.4	41	0	0.0	37	-1	-100%	-0.4	-100%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	13	4.9	55	18	6.6	59	18	6.7	54	5	38%	1.8	36%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	11	4.2	51	14	5.1	51	21	7.8	51	10	91%	3.6	87%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				8	2.9	62	16	6.0	66	8	100%	3.0	103%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				50	18.4	58	56	20.9	58	56	12%	2.5	14%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	7	2.7	46	14	5.1	50	12	4.5	45	5	71%	1.8	68%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 県央医療圏

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は32,820人(-12%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は52人(6%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は369人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は21%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

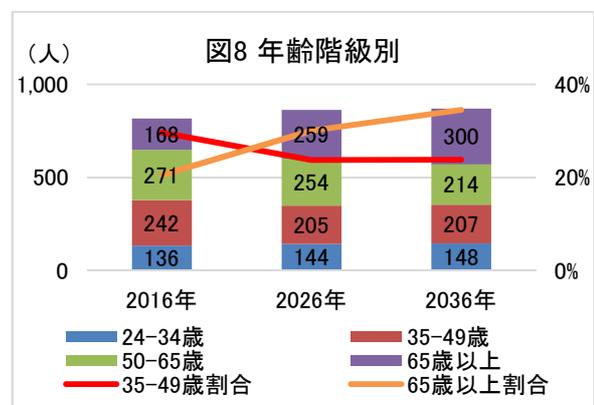
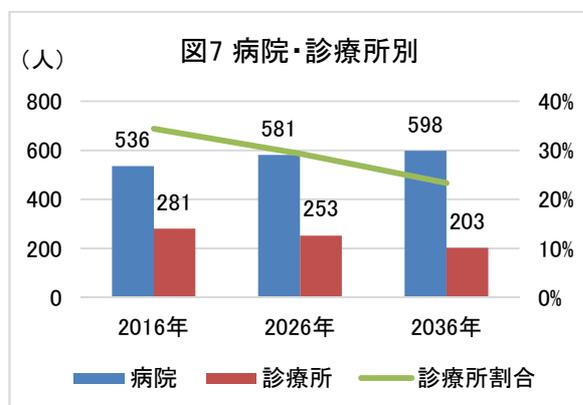
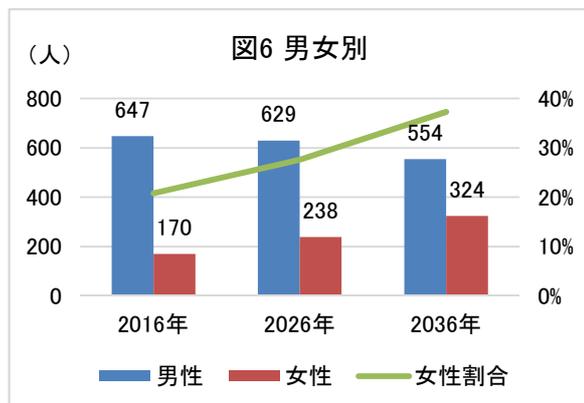
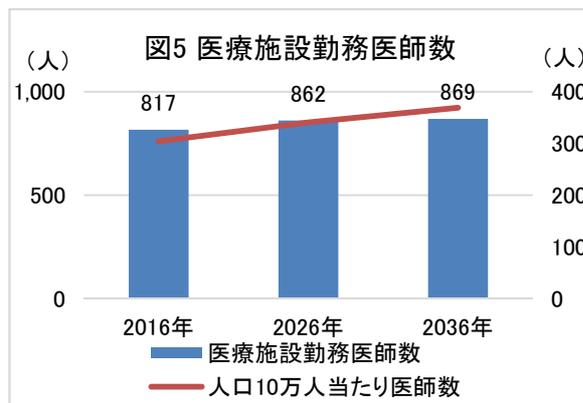
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて93人(-14%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に154人(91%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は37%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて62人(12%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に78人(-28%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は23%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は35人(-14%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて132人(79%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年21%、2036年35%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



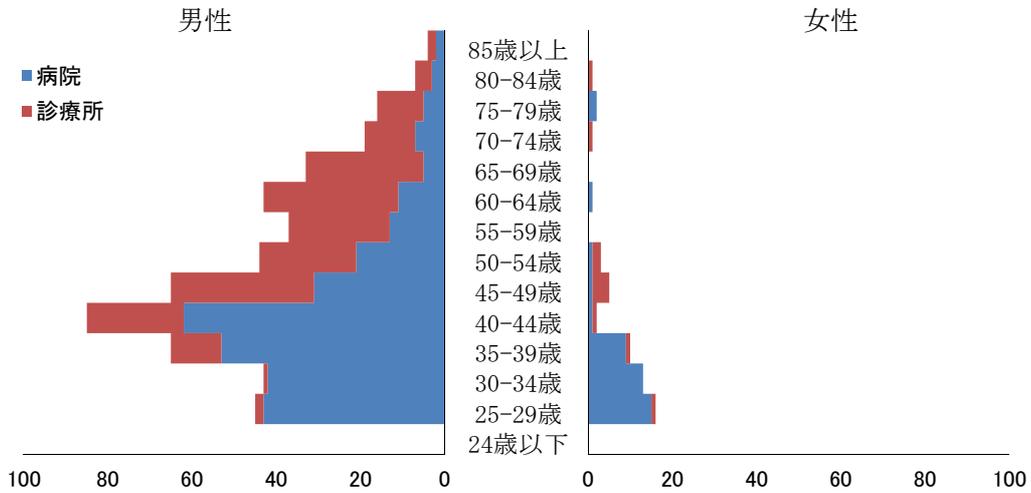
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

県央医療圏

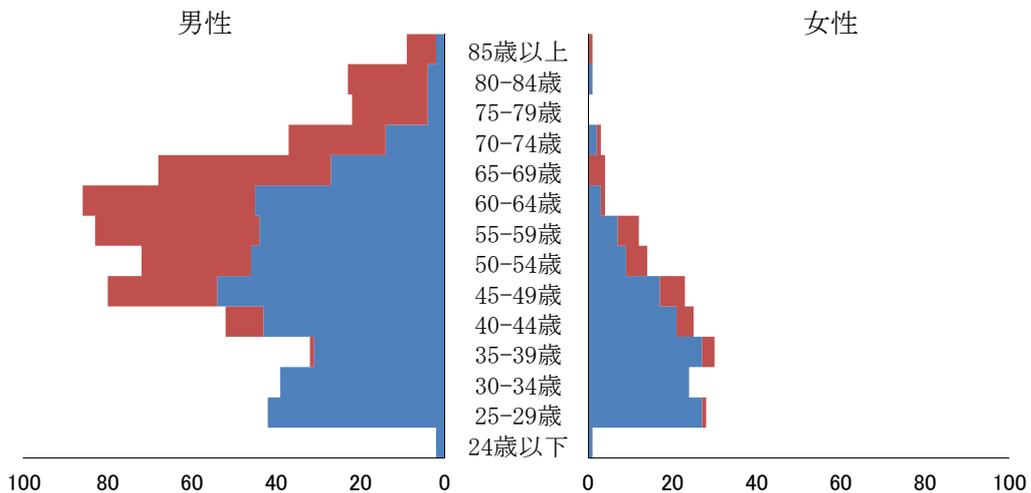
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

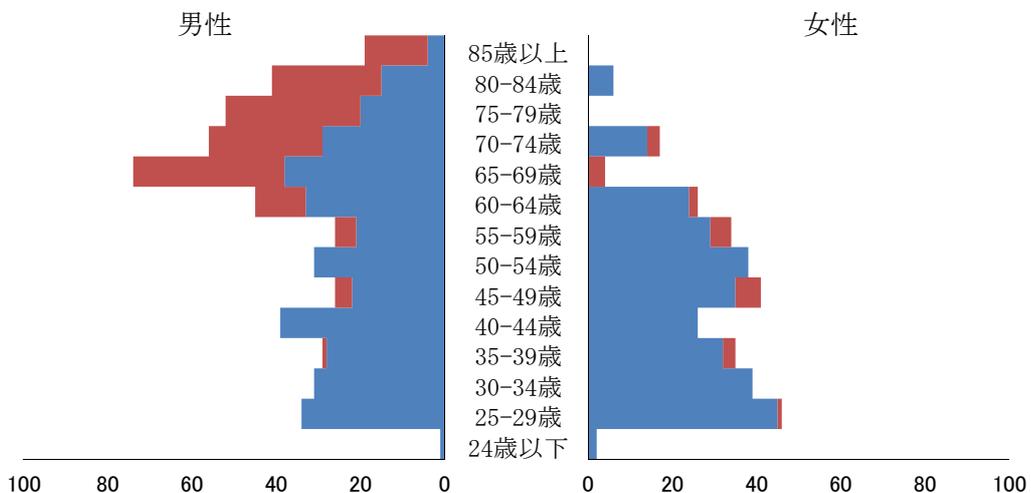
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 県央医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	268,091	252,766	235,271	-32,820	-12%	-15,325	-6%	-17,495	-7%	
医療施設勤務医師数	817	862	869	52	6%	45	6%	7	1%	
人口10万対	304.7	341.0	369.4	64.6	21%	36.3	12%	28.3	8%	
男性医師数	647	629	554	-93	-14%	-18	-3%	-75	-12%	
人口10万対	241.3	248.8	235.5	-5.9	-2%	7.5	3%	-13.4	-5%	
女性医師数	170	238	324	154	91%	68	40%	86	36%	
人口10万対	63.4	94.2	137.7	74.3	117%	30.7	48%	43.6	46%	
病院勤務医師数	536	581	598	62	12%	45	8%	17	3%	
人口10万対	199.9	229.9	254.2	54.2	27%	29.9	15%	24.3	11%	
診療所勤務医師数	281	253	203	-78	-28%	-28	-10%	-50	-20%	
人口10万対	104.8	100.1	86.3	-18.5	-18%	-4.7	-5%	-13.8	-14%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	136	144	148	12	9%	8	6%	4	3%
	35-49歳	242	205	207	-35	-14%	-37	-15%	2	1%
	50-64歳	271	254	214	-57	-21%	-17	-6%	-40	-16%
	65歳以上	168	259	300	132	79%	91	54%	41	16%
	75歳以上(再掲)	56	87	132	76	136%	31	55%	45	52%
男性	24-34歳	83	88	66	-17	-20%	5	6%	-22	-25%
	35-49歳	164	108	105	-59	-36%	-56	-34%	-3	-3%
	50-64歳	241	195	126	-115	-48%	-46	-19%	-69	-35%
	65歳以上	159	238	257	98	62%	79	50%	19	8%
	75歳以上(再掲)	54	82	121	67	124%	28	52%	39	48%
女性	24-34歳	53	57	87	34	64%	4	8%	30	53%
	35-49歳	78	105	113	35	45%	27	35%	8	8%
	50-64歳	30	58	89	59	197%	28	93%	31	53%
	65歳以上	9	18	35	26	289%	9	100%	17	94%
	75歳以上(再掲)	2	4	8	6	300%	2	100%	4	100%
病院	24-34歳	135	143	147	12	9%	8	6%	4	3%
	35-49歳	193	169	170	-23	-12%	-24	-12%	1	1%
	50-64歳	154	165	150	-4	-3%	11	7%	-15	-9%
	65歳以上	54	104	131	77	143%	50	93%	27	26%
	75歳以上(再掲)	11	25	45	34	309%	14	127%	20	80%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	49	18	18	-31	-63%	-31	-63%	0	0%
	50-64歳	117	85	33	-84	-72%	-32	-27%	-52	-61%
	65歳以上	114	149	151	37	32%	35	31%	2	1%
	75歳以上(再掲)	45	60	79	34	76%	15	33%	19	32%
	85歳以上(再掲)	8	13	18	10	125%	5	63%	5	38%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 県南医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は29,713人(-18%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は12人(5%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は179人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は28%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

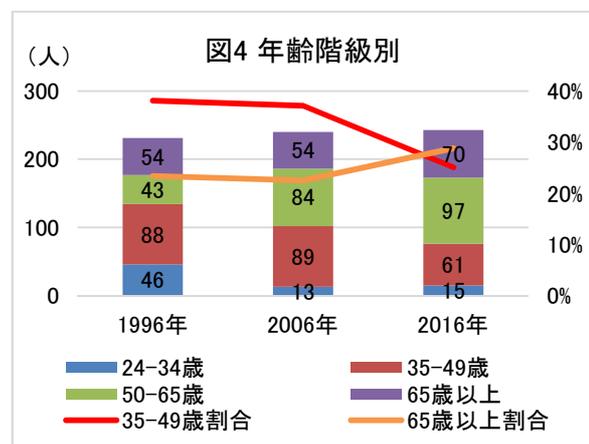
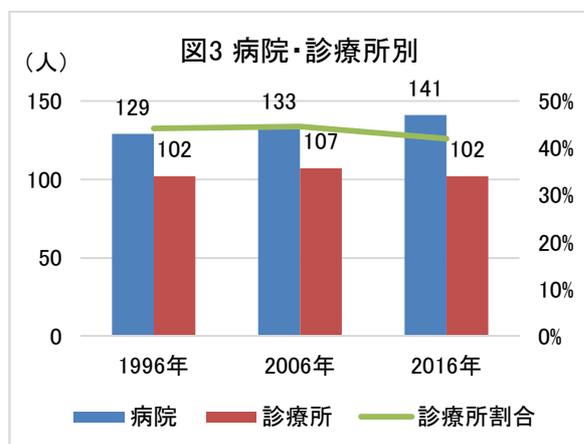
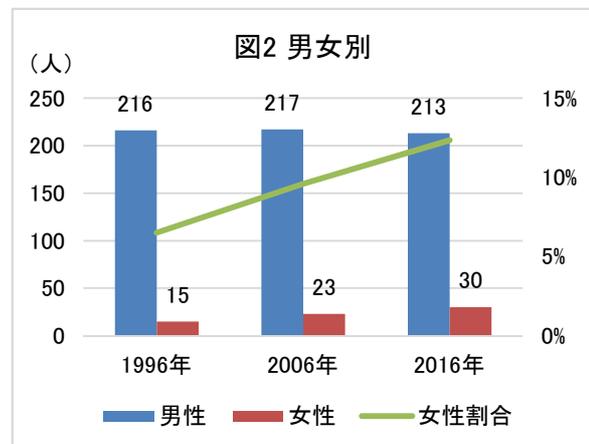
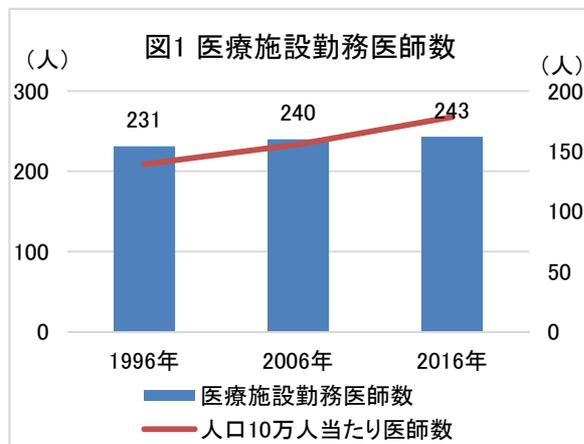
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて3人(-1%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に15人(100%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は12%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて12人(9%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に増減がなく、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は42%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は27人(-31%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて16人(30%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年23%、2016年29%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 県南医療圏

### 表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	165,799	154,088	136,086	-29,713	-18%	-11,711	-7%	-18,002	-12%	
総医師数	235	253	253	18	8%	18	8%	0	0%	
人口10万対	141.7	164.2	185.9	44.2	31%	22.5	16%	21.7	13%	
医療施設勤務医師数	231	240	243	12	5%	9	4%	3	1%	
人口10万対	139.3	155.8	178.6	39.2	28%	16.4	12%	22.8	15%	
男性医師数	216	217	213	-3	-1%	1	0%	-4	-2%	
人口10万対	130.3	140.8	156.5	26.2	20%	10.6	8%	15.7	11%	
女性医師数	15	23	30	15	100%	8	53%	7	30%	
人口10万対	9.0	14.9	22.0	13.0	144%	5.9	65%	7.1	48%	
病院勤務医師数	129	133	141	12	9%	4	3%	8	6%	
人口10万対	77.8	86.3	103.6	25.8	33%	8.5	11%	17.3	20%	
診療所勤務医師数	102	107	102	0	0%	5	5%	-5	-5%	
人口10万対	61.5	69.4	75.0	13.4	22%	7.9	13%	5.5	8%	
医療施設勤務医 平均年齢	50.3	54.2	57.7	7.4	15%	3.9	8%	3.5	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	46	13	15	-31	-67%	-33	-72%	2	15%
	35-49歳	88	89	61	-27	-31%	1	1%	-28	-31%
	50-64歳	43	84	97	54	126%	41	95%	13	15%
	65歳以上	54	54	70	16	30%	0	0%	16	30%
	75歳以上(再掲)	16	26	27	11	69%	10	63%	1	4%
男性	24-34歳	42	10	13	-29	-69%	-32	-76%	3	30%
	35-49歳	82	81	48	-34	-41%	-1	-1%	-33	-41%
	50-64歳	42	76	90	48	114%	34	81%	14	18%
	65歳以上	50	50	62	12	24%	0	0%	12	24%
	75歳以上(再掲)	15	22	24	9	60%	7	47%	2	9%
女性	24-34歳	4	3	2	-2	-50%	-1	-25%	-1	-33%
	35-49歳	6	8	13	7	117%	2	33%	5	63%
	50-64歳	1	8	7	6	600%	7	700%	-1	-13%
	65歳以上	4	4	8	4	100%	0	0%	4	100%
	75歳以上(再掲)	1	4	3	2	200%	3	300%	-1	-25%
病院	24-34歳	44	12	15	-29	-66%	-32	-73%	3	25%
	35-49歳	52	62	42	-10	-19%	10	19%	-20	-32%
	50-64歳	13	39	57	44	338%	26	200%	18	46%
	65歳以上	20	20	27	7	35%	0	0%	7	35%
	75歳以上(再掲)	10	9	9	-1	-10%	-1	-10%	0	0%
診療所	24-34歳	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
	35-49歳	36	27	19	-17	-47%	-9	-25%	-8	-30%
	50-64歳	30	45	40	10	33%	15	50%	-5	-11%
	65歳以上	34	34	43	9	26%	0	0%	9	26%
	75歳以上(再掲)	6	17	18	12	200%	11	183%	1	6%
	85歳以上(再掲)	0	5	8	8		5		3	60%

## 県南医療圏

### ＜医師数の推移＞

県南医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、小児科、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、耳鼻咽喉科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、脳神経外科、形成外科、皮膚科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	231	139.3	45	240	155.8	44	243	178.6	43	12	5%	39.2	28%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	121	73.0	49	109	70.7	47	106	77.9	46	-15	-12%	4.9	7%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	5	3.0	32	7	4.5	34	7	5.1	35	2	40%	2.1	71%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	9	5.4	43	12	7.8	46	15	11.0	48	6	67%	5.6	103%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	35	21.1	50	26	16.9	48	29	21.3	53	-6	-17%	0.2	1%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	1	0.6	42	0	0.0	36	0	0.0	0.0	0.0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	3	1.8	39	4	2.6	40	5	3.7	42	2	67%	1.9	103%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	18	10.9	45	19	12.3	45	24	17.6	52	6	33%	6.8	62%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	1	0.6	46	2	1.3	49	3	2.2	51	2	200%	1.6	266%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	3	1.8	40	8	5.2	47	6	4.4	42	3	100%	2.6	144%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	8	4.8	42	10	6.5	42	8	5.9	39	0	0%	1.1	22%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	5	3.0	39	5	3.2	38	3	2.2	34	-2	-40%	-0.8	-27%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	6	3.6	48	10	6.5	57	8	5.9	51	2	33%	2.3	62%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	12	7.2	44	18	11.7	56	15	11.0	51	3	25%	3.8	52%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	1	0.7	42	1	0	0.7	0.7
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	4	2.4	47	5	3.2	48	4	2.9	44	0	0%	0.5	22%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	1	0.6	37	6	4.4	44	6	0	4.4	4.4
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	0.0	0.0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				1	0.6	38	1	0.7	37	1	0%	0.1	13%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	0.6	41	2	1.3	42	2	1.5	40	1	100%	0.9	144%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 県南医療圏

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は33,342人(-25%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は15人(-6%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は222人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は24%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

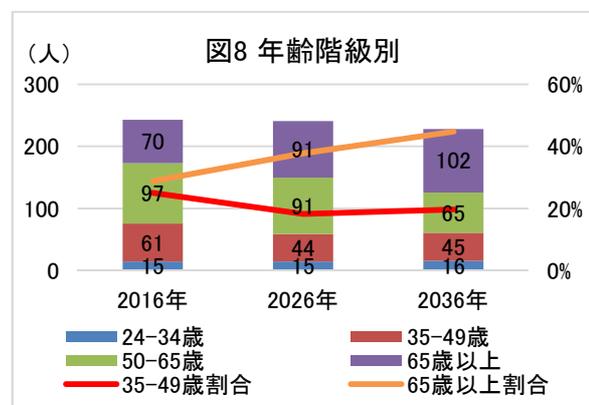
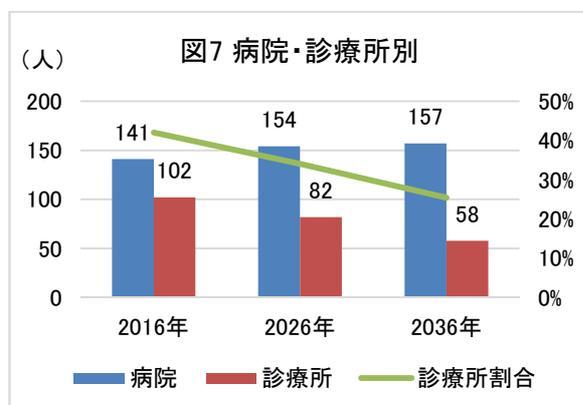
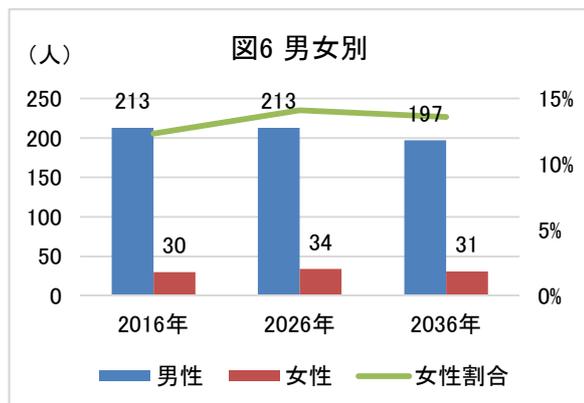
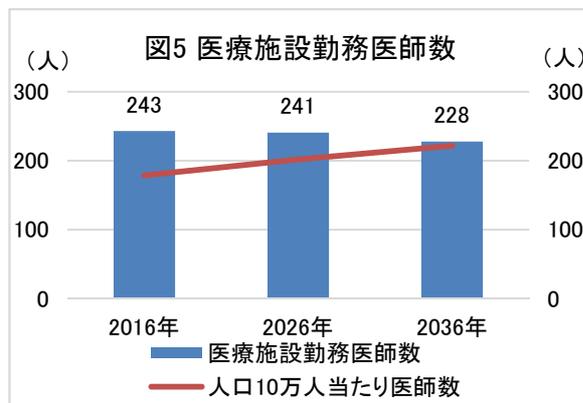
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて16人(-8%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に1人(3%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は14%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて16人(11%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に44人(-43%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は25%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は16人(-26%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて32人(46%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年29%、2036年45%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



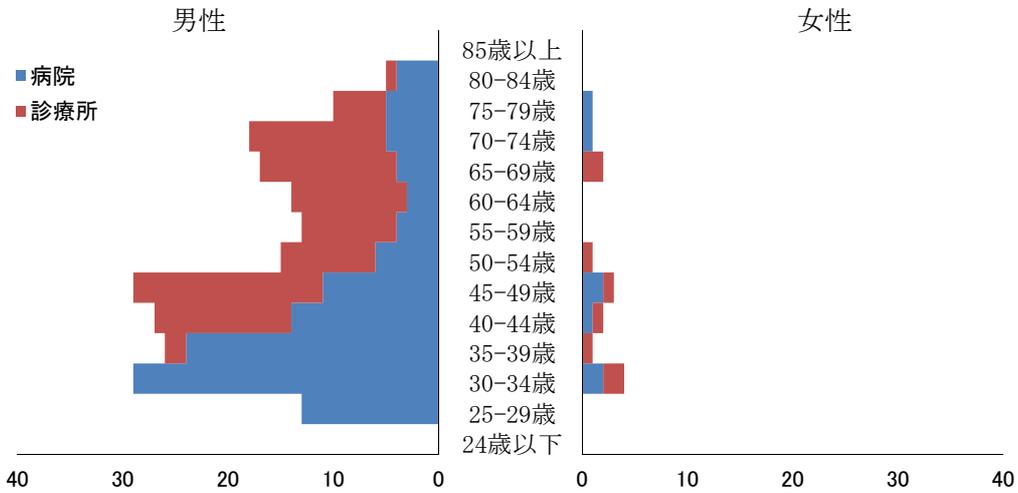
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

県南医療圏

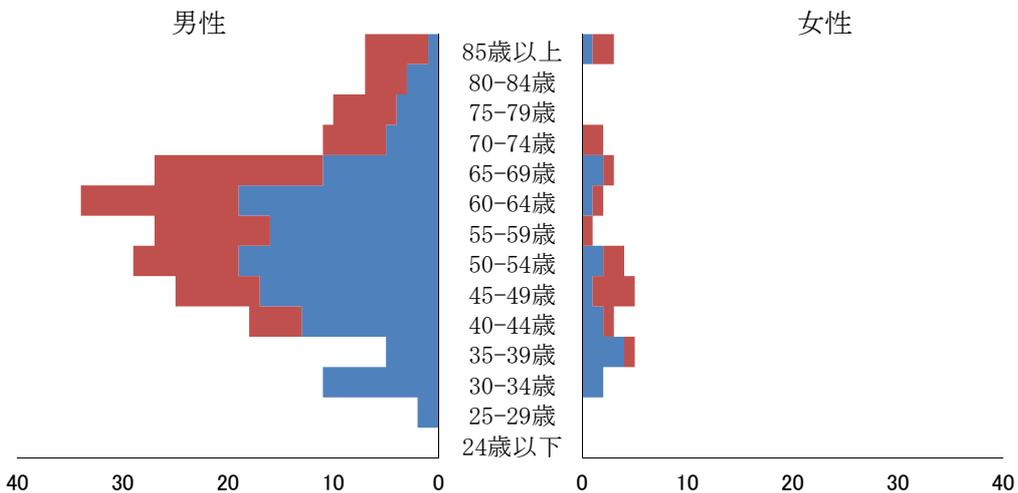
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

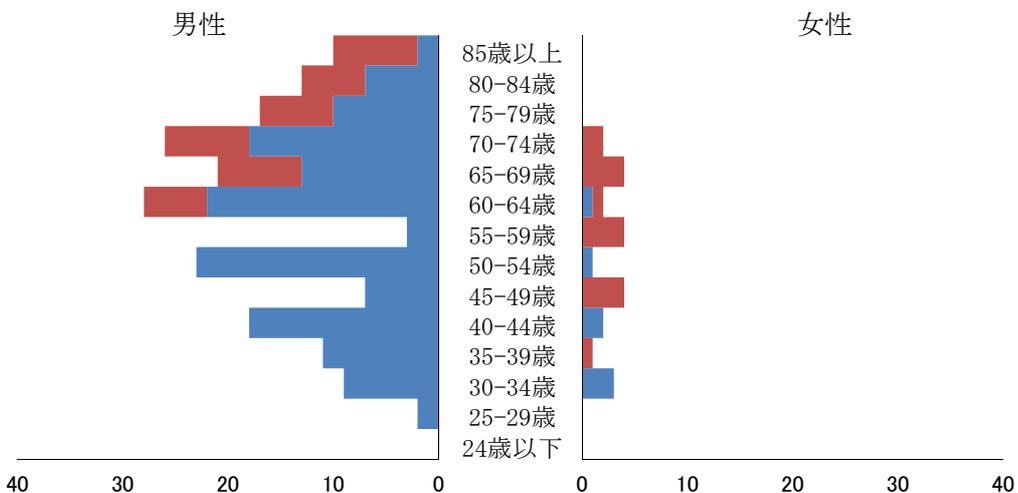
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 県南医療圏

### 表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	136,086	119,325	102,744	-33,342	-25%	-16,761	-12%	-16,581	-14%	
医療施設勤務医師数	243	241	228	-15	-6%	-2	-1%	-13	-5%	
人口10万対	178.6	202.0	221.9	43.3	24%	23.4	13%	19.9	10%	
男性医師数	213	213	197	-16	-8%	0	0%	-16	-8%	
人口10万対	156.5	178.5	191.7	35.2	23%	22.0	14%	13.2	7%	
女性医師数	30	34	31	1	3%	4	13%	-3	-9%	
人口10万対	22.0	28.5	30.2	8.1	37%	6.4	29%	1.7	6%	
病院勤務医師数	141	154	157	16	11%	13	9%	3	2%	
人口10万対	103.6	129.1	152.8	49.2	47%	25.4	25%	23.7	18%	
診療所勤務医師数	102	82	58	-44	-43%	-20	-20%	-24	-29%	
人口10万対	75.0	68.7	56.5	-18.5	-25%	-6.2	-8%	-12.3	-18%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	15	15	16	1	7%	0	0%	1	7%
	35-49歳	61	44	45	-16	-26%	-17	-28%	1	2%
	50-64歳	97	91	65	-32	-33%	-6	-6%	-26	-29%
	65歳以上	70	91	102	32	46%	21	30%	11	12%
	75歳以上(再掲)	27	38	47	20	74%	11	41%	9	24%
男性	24-34歳	13	13	11	-2	-15%	0	0%	-2	-15%
	35-49歳	48	36	42	-6	-13%	-12	-25%	6	17%
	50-64歳	90	80	57	-33	-37%	-10	-11%	-23	-29%
	65歳以上	62	84	87	25	40%	22	35%	3	4%
	75歳以上(再掲)	24	33	40	16	67%	9	38%	7	21%
女性	24-34歳	2	2	3	1	50%	0	0%	1	50%
	35-49歳	13	16	3	-10	-77%	3	23%	-13	-81%
	50-64歳	7	11	17	10	143%	4	57%	6	55%
	65歳以上	8	5	8	0	0%	-3	-38%	3	60%
	75歳以上(再掲)	3	2	0	-3	-100%	-1	-33%	-2	-100%
病院	24-34歳	15	15	16	1	7%	0	0%	1	7%
	35-49歳	42	35	36	-6	-14%	-7	-17%	1	3%
	50-64歳	57	63	52	-5	-9%	6	11%	-11	-17%
	65歳以上	27	41	53	26	96%	14	52%	12	29%
	75歳以上(再掲)	9	15	20	11	122%	6	67%	5	33%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	19	3	3	-16	-84%	-16	-84%	0	0%
	50-64歳	40	31	8	-32	-80%	-9	-23%	-23	-74%
	65歳以上	43	48	47	4	9%	5	12%	-1	-2%
	75歳以上(再掲)	18	23	26	8	44%	5	28%	3	13%
	85歳以上(再掲)	8	8	11	3	38%	0	0%	3	38%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 五島医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は13,968人(-27%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は増減がなかった。2016年の人口10万人当たり医師数は190人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は37%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

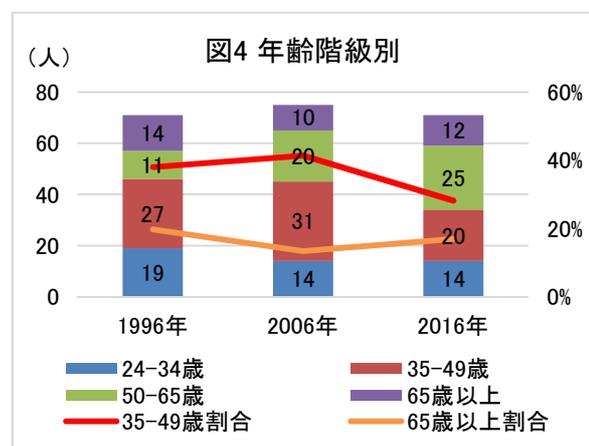
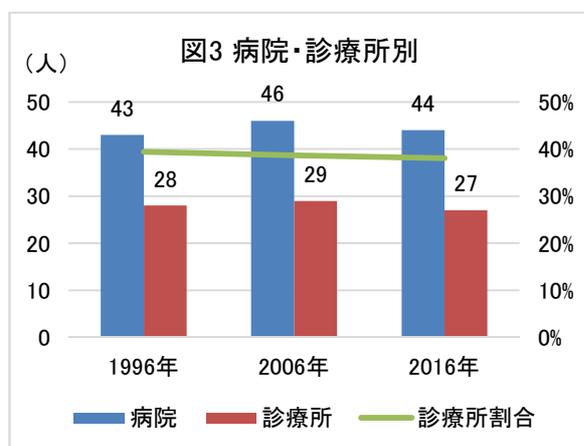
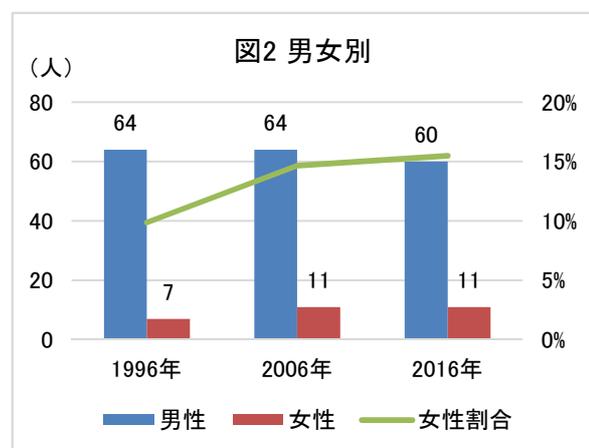
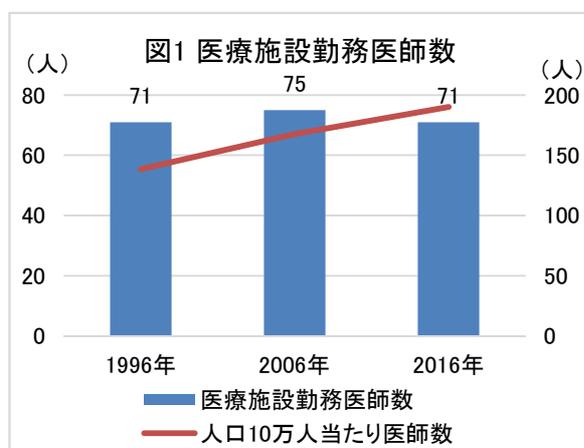
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて4人(-6%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に4人(57%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は15%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて1人(2%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に1人(-4%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は38%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は7人(-26%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて2人(-14%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年20%、2016年17%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 五島医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	51,295	44,765	37,327	-13,968	-27%	-6,530	-13%	-7,438	-17%	
総医師数	74	78	73	-1	-1%	4	5%	-5	-6%	
人口10万対	144.3	174.2	195.6	51.3	36%	30.0	21%	21.3	12%	
医療施設勤務医師数	71	75	71	0	0%	4	6%	-4	-5%	
人口10万対	138.4	167.5	190.2	51.8	37%	29.1	21%	22.7	14%	
男性医師数	64	64	60	-4	-6%	0	0%	-4	-6%	
人口10万対	124.8	143.0	160.7	36.0	29%	18.2	15%	17.8	12%	
女性医師数	7	11	11	4	57%	4	57%	0	0%	
人口10万対	13.6	24.6	29.5	15.8	116%	10.9	80%	4.9	20%	
病院勤務医師数	43	46	44	1	2%	3	7%	-2	-4%	
人口10万対	83.8	102.8	117.9	34.0	41%	18.9	23%	15.1	15%	
診療所勤務医師数	28	29	27	-1	-4%	1	4%	-2	-7%	
人口10万対	54.6	64.8	72.3	17.7	33%	10.2	19%	7.6	12%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.5	48.1	50.7	3.2	7%	0.6	1%	2.6	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	19	14	14	-5	-26%	-5	-26%	0	0%
	35-49歳	27	31	20	-7	-26%	4	15%	-11	-35%
	50-64歳	11	20	25	14	127%	9	82%	5	25%
	65歳以上	14	10	12	-2	-14%	-4	-29%	2	20%
	75歳以上(再掲)	5	3	3	-2	-40%	-2	-40%	0	0%
男性	24-34歳	14	9	12	-2	-14%	-5	-36%	3	33%
	35-49歳	27	27	16	-11	-41%	0	0%	-11	-41%
	50-64歳	9	19	22	13	144%	10	111%	3	16%
	65歳以上	14	9	10	-4	-29%	-5	-36%	1	11%
	75歳以上(再掲)	5	3	2	-3	-60%	-2	-40%	-1	-33%
女性	24-34歳	5	5	2	-3	-60%	0	0%	-3	-60%
	35-49歳	0	4	4	4		4		0	0%
	50-64歳	2	1	3	1	50%	-1	-50%	2	200%
	65歳以上	0	1	2	2		1		1	100%
	75歳以上(再掲)	0	0	1	1		0		1	
病院	24-34歳	17	14	14	-3	-18%	-3	-18%	0	0%
	35-49歳	19	20	17	-2	-11%	1	5%	-3	-15%
	50-64歳	6	9	9	3	50%	3	50%	0	0%
	65歳以上	1	3	4	3	300%	2	200%	1	33%
	75歳以上(再掲)	1	0	1	0	0%	-1	-100%	1	
診療所	24-34歳	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
	35-49歳	8	11	3	-5	-63%	3	38%	-8	-73%
	50-64歳	5	11	16	11	220%	6	120%	5	45%
	65歳以上	13	7	8	-5	-38%	-6	-46%	1	14%
	75歳以上(再掲)	4	3	2	-2	-50%	-1	-25%	-1	-33%
	85歳以上(再掲)	0	1	1	1		1		0	0%

## 五島医療圏

### ＜医師数の推移＞

五島医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、外科(総数)であり、少ない診療科は、小児科、精神科、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、眼科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科はない。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	71	138.4	44	75	167.5	45	71	190.2	44	0	0%	51.8	37%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	37	72.1	49	38	84.9	52	35	93.8	51	-2	-5%	21.6	30%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	3	5.8	39	3	6.7	39	3	8.0	40	0	0%	2.2	37%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	3	5.8	45	3	6.7	43	3	8.0	42	0	0%	2.2	37%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	10	19.5	49	8	17.9	50	10	26.8	61	0	0%	7.3	37%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	1	1.9	40	2	4.5	48	1	2.7	38	0	0%	0.7	37%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	6	11.7	47	6	13.4	47	6	16.1	49	0	0%	4.4	37%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	0	0.0	34	1	2.2	38	1	2.7	38	1	2.7		
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	3	5.8	44	3	6.7	43	2	5.4	38	-1	-33%	-0.5	-8%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	2	3.9	41	2	4.5	42	2	5.4	44	0	0%	1.5	37%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	1	1.9	41	1	2.2	39	1	2.7	39	0	0%	0.7	37%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	5	9.7	50	4	8.9	49	3	8.0	45	-2	-40%	-1.7	-18%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0	0%	0.0	
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	1	2.2	45	2	5.4	50	2	5.4		
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0.0	34	0	0%	0.0	
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				2	4.5	42	1	2.7	39	1	-50%	-1.8	-40%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	0	0.0	40	1	2.2	44	1	2.7	42	1	2.7		

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 五島医療圏

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は12,647人(-34%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は21人(-30%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は203人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は7%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

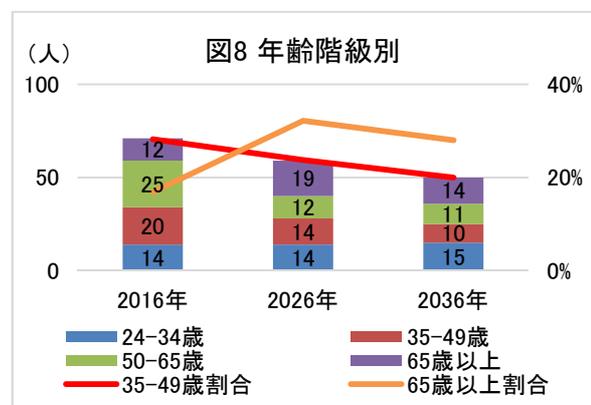
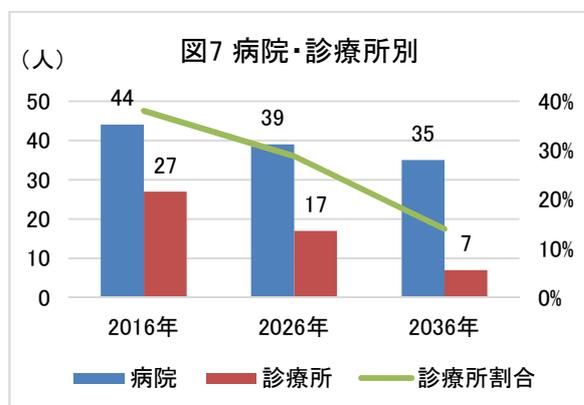
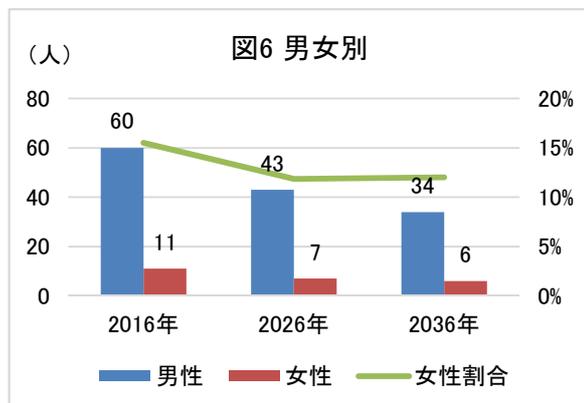
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて26人(-43%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に5人(-45%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は12%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて9人(-20%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に20人(-74%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は14%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は10人(-50%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて2人(17%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年17%、2036年28%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



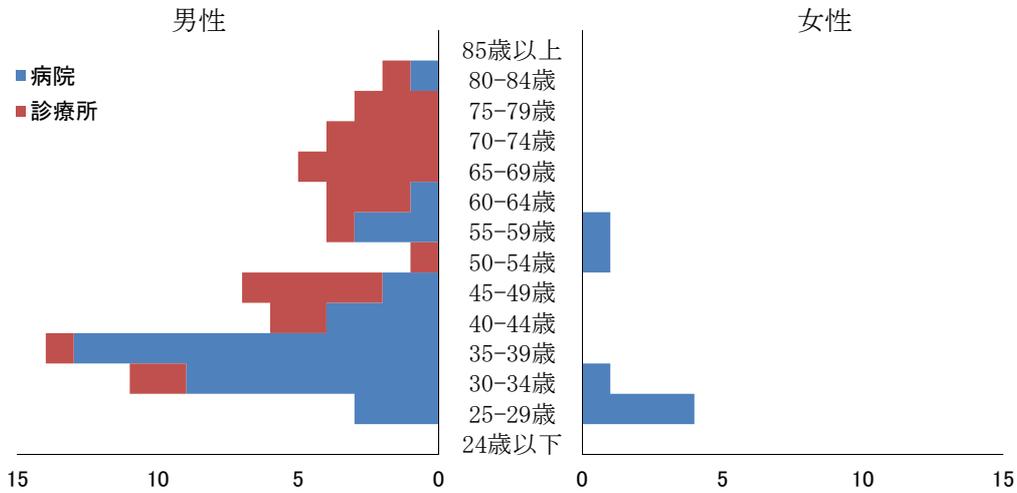
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 五島医療圏

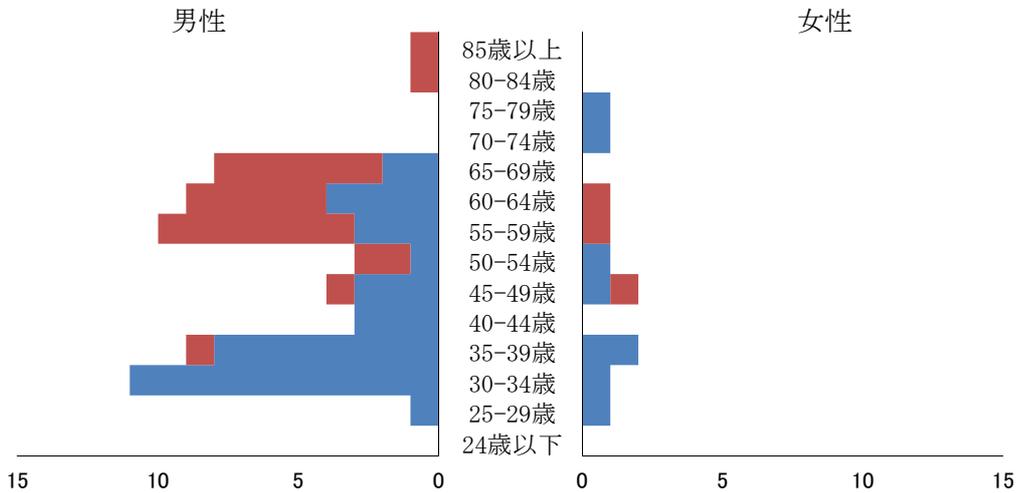
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

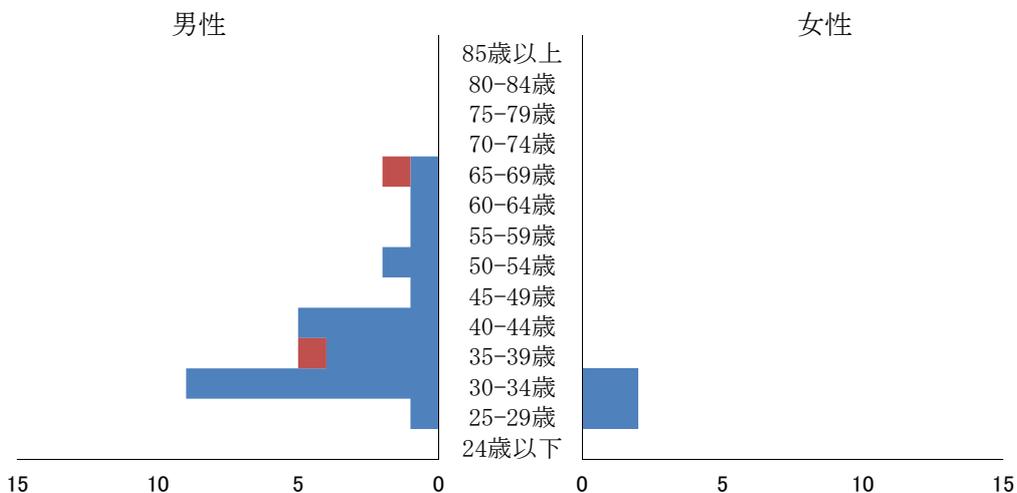
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 五島医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	37,327	30,529	24,680	-12,647	-34%	-6,798	-18%	-5,849	-19%	
医療施設勤務医師数	71	59	50	-21	-30%	-12	-17%	-9	-15%	
人口10万対	190.2	193.3	202.6	12.4	7%	3.0	2%	9.3	5%	
男性医師数	60	43	34	-26	-43%	-17	-28%	-9	-21%	
人口10万対	160.7	140.8	137.8	-23.0	-14%	-19.9	-12%	-3.1	-2%	
女性医師数	11	7	6	-5	-45%	-4	-36%	-1	-14%	
人口10万対	29.5	22.9	24.3	-5.2	-18%	-6.5	-22%	1.4	6%	
病院勤務医師数	44	39	35	-9	-20%	-5	-11%	-4	-10%	
人口10万対	117.9	127.7	141.8	23.9	20%	9.9	8%	14.1	11%	
診療所勤務医師数	27	17	7	-20	-74%	-10	-37%	-10	-59%	
人口10万対	72.3	55.7	28.4	-44.0	-61%	-16.6	-23%	-27.3	-49%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	14	14	15	1	7%	0	0%	1	7%
	35-49歳	20	14	10	-10	-50%	-6	-30%	-4	-29%
	50-64歳	25	12	11	-14	-56%	-13	-52%	-1	-8%
	65歳以上	12	19	14	2	17%	7	58%	-5	-26%
	75歳以上(再掲)	3	5	7	4	133%	2	67%	2	40%
男性	24-34歳	12	12	10	-2	-17%	0	0%	-2	-17%
	35-49歳	16	14	12	-4	-25%	-2	-13%	-2	-14%
	50-64歳	22	8	10	-12	-55%	-14	-64%	2	25%
	65歳以上	10	9	2	-8	-80%	-1	-10%	-7	-78%
	75歳以上(再掲)	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
女性	24-34歳	2	2	4	2	100%	0	0%	2	100%
	35-49歳	4	2	0	-4	-100%	-2	-50%	-2	-100%
	50-64歳	3	2	2	-1	-33%	-1	-33%	0	0%
	65歳以上	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
病院	24-34歳	14	14	15	1	7%	0	0%	1	7%
	35-49歳	17	12	9	-8	-47%	-5	-29%	-3	-25%
	50-64歳	9	6	7	-2	-22%	-3	-33%	1	17%
	65歳以上	4	7	4	0	0%	3	75%	-3	-43%
	75歳以上(再掲)	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	50-64歳	16	5	2	-14	-88%	-11	-69%	-3	-60%
	65歳以上	8	9	2	-6	-75%	1	13%	-7	-78%
	75歳以上(再掲)	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
	85歳以上(再掲)	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 上五島医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は11,805人(-35%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は7人(-19%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は130人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は23%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

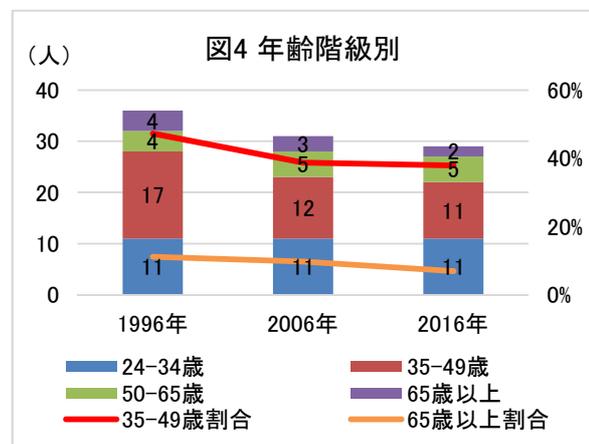
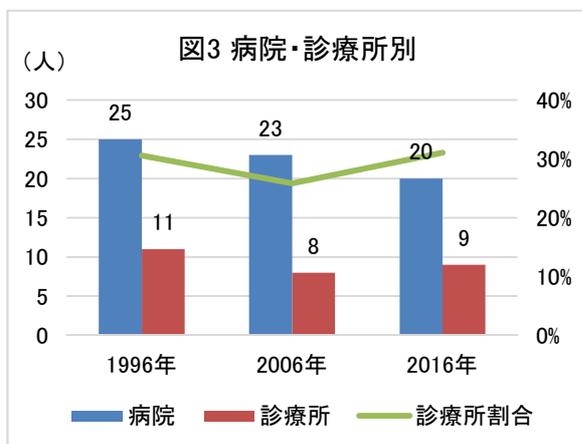
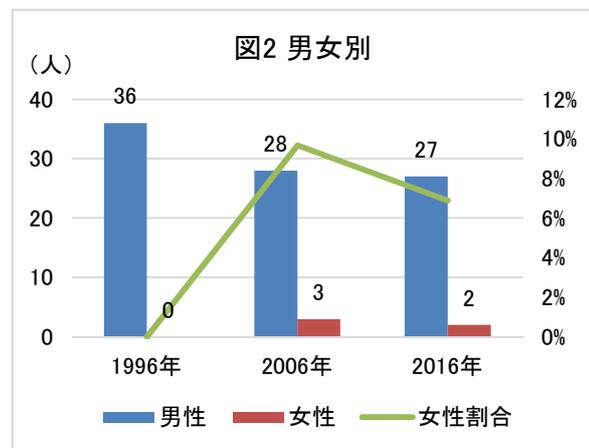
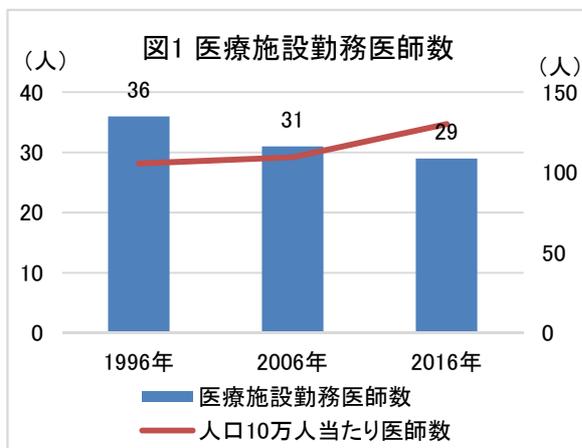
男性医師は、1996年から2016年にかけて9人(-25%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に0人から2人増え、2016年の女性医師割合は7%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて5人(-20%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に2人(-18%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は31%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は6人(-35%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて2人(-50%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年11%、2016年7%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 上五島医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	34,083	28,307	22,278	-11,805	-35%	-5,776	-17%	-6,029	-21%	
総医師数	37	33	31	-6	-16%	-4	-11%	-2	-6%	
人口10万対	108.6	116.6	139.2	30.6	28%	8.0	7%	22.6	19%	
医療施設勤務医師数	36	31	29	-7	-19%	-5	-14%	-2	-6%	
人口10万対	105.6	109.5	130.2	24.5	23%	3.9	4%	20.7	19%	
男性医師数	36	28	27	-9	-25%	-8	-22%	-1	-4%	
人口10万対	105.6	98.9	121.2	15.6	15%	-6.7	-6%	22.3	23%	
女性医師数	0	3	2	2		3		-1	-33%	
人口10万対	0.0	10.6	9.0	9.0		10.6		-1.6	-15%	
病院勤務医師数	25	23	20	-5	-20%	-2	-8%	-3	-13%	
人口10万対	73.4	81.3	89.8	16.4	22%	7.9	11%	8.5	10%	
診療所勤務医師数	11	8	9	-2	-18%	-3	-27%	1	13%	
人口10万対	32.3	28.3	40.4	8.1	25%	-4.0	-12%	12.1	43%	
医療施設勤務医 平均年齢	43.8	42.6	42.0	-1.9	-4%	-1.2	-3%	-0.7	-2%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	11	11	11	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	17	12	11	-6	-35%	-5	-29%	-1	-8%
	50-64歳	4	5	5	1	25%	1	25%	0	0%
	65歳以上	4	3	2	-2	-50%	-1	-25%	-1	-33%
	75歳以上(再掲)	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
男性	24-34歳	11	8	10	-1	-9%	-3	-27%	2	25%
	35-49歳	17	12	10	-7	-41%	-5	-29%	-2	-17%
	50-64歳	4	5	5	1	25%	1	25%	0	0%
	65歳以上	4	3	2	-2	-50%	-1	-25%	-1	-33%
	75歳以上(再掲)	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
女性	24-34歳	0	3	1	1		3		-2	-67%
	35-49歳	0	0	1	1		0		1	
	50-64歳	0	0	0	0		0		0	
	65歳以上	0	0	0	0		0		0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	11	11	11	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	13	10	8	-5	-38%	-3	-23%	-2	-20%
	50-64歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	65歳以上	0	1	0	0		1		-1	-100%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	4	2	3	-1	-25%	-2	-50%	1	50%
	50-64歳	3	4	4	1	33%	1	33%	0	0%
	65歳以上	4	2	2	-2	-50%	-2	-50%	0	0%
	75歳以上(再掲)	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
	85歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	

## 上五島医療圏

## ＜医師数の推移＞

上五島医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、整形外科、泌尿器科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、眼科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	36	105.6	40	31	109.5	38	29	130.2	38	-7	-19%	24.5	23%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	18	52.8	43	15	53.0	41	16	71.8	44	-2	-11%	19.0	36%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	2	5.9	39	2	7.1	40	1	4.5	34	-1	-50%	-1.4	-24%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	1	2.9	37	1	3.5	36	0	0.0	27	-1	-100%	-2.9	-100%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	5	14.7	43	5	17.7	49	5	22.4	55	0	0%	7.8	53%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	0	0.0	32	0	0.0	29	0	0.0	28	0	0%	0.0	0%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	4	11.7	47	3	10.6	41	3	13.5	44	-1	-25%	1.7	15%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	0	0.0	34	0	0.0	31	0	0.0	30	0	0%	0.0	0%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	1	2.9	38	2	7.1	44	2	9.0	47	1	100%	6.0	206%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	0	0.0	30	0	0.0	28	0	0.0	27	0	0%	0.0	0%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	2	5.9	58	1	3.5	44	0	0.0	28	-2	-100%	-5.9	-100%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	2	5.9	41	2	7.1	44	1	4.5	37	-1	-50%	-1.4	-24%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0.0	34	0	0%	0.0	0%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	1	4.5	41	1	4%	4.5	4%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	2.9	47	0	0.0	40	0	0.0	37	-1	-100%	-2.9	-100%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 上五島医療圏

## ＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は8,885人(-40%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は3人(10%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は239人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は84%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

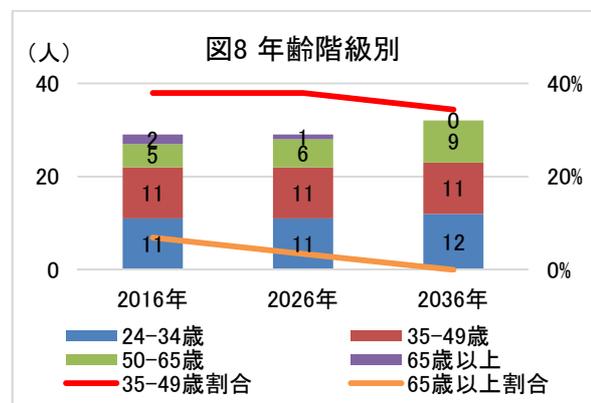
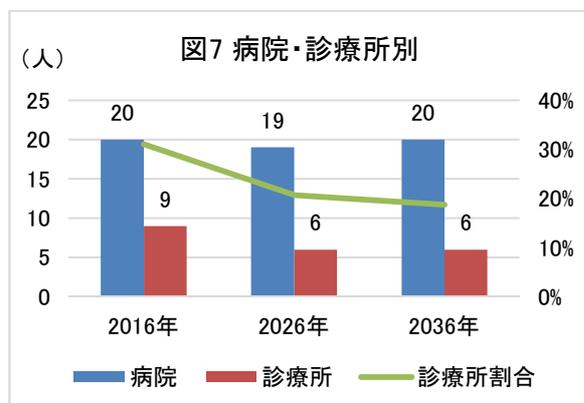
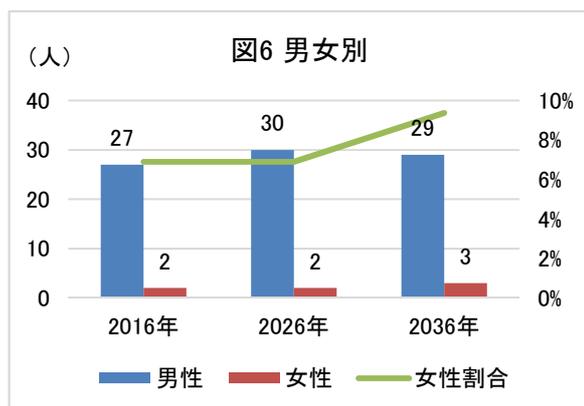
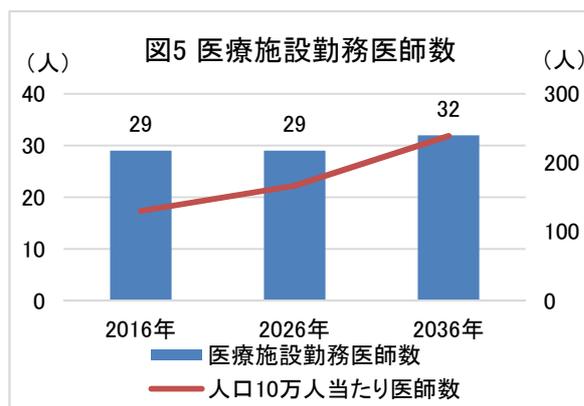
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて2人(7%)増え、全国平均(7%)と同程度の増加率である。女性医師は、同期間に1人(50%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は9%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて増減がなく、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に3人(-33%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は19%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は増減がなく、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて2人(-100%)減り、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年7%、2036年0%と減少傾向と推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



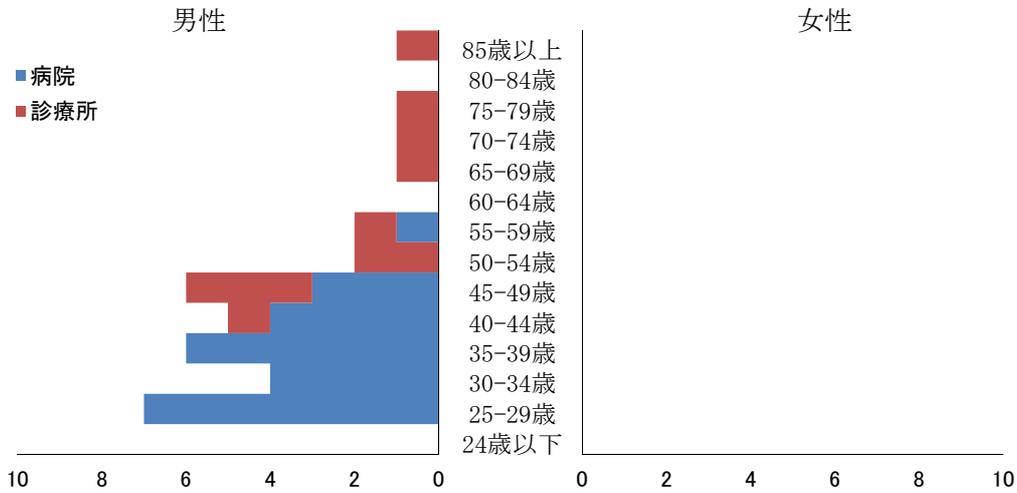
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 上五島医療圏

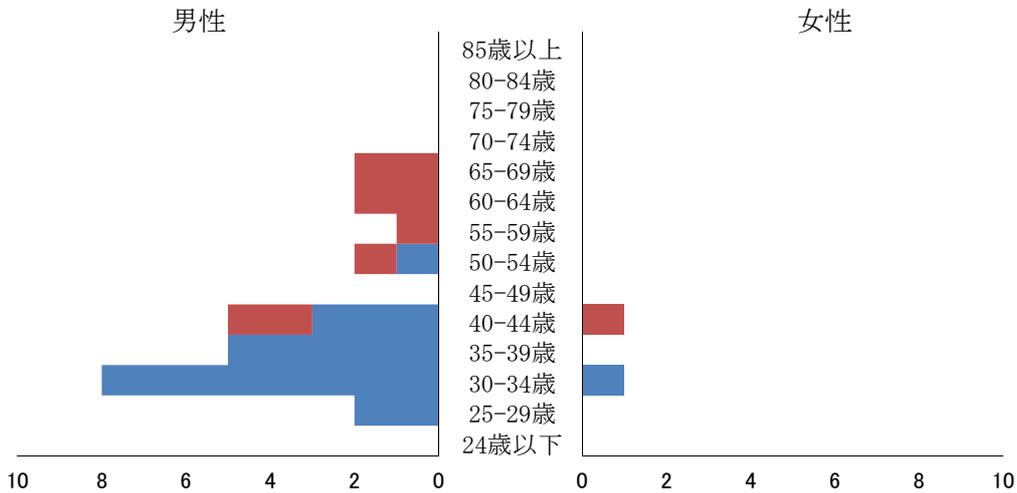
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

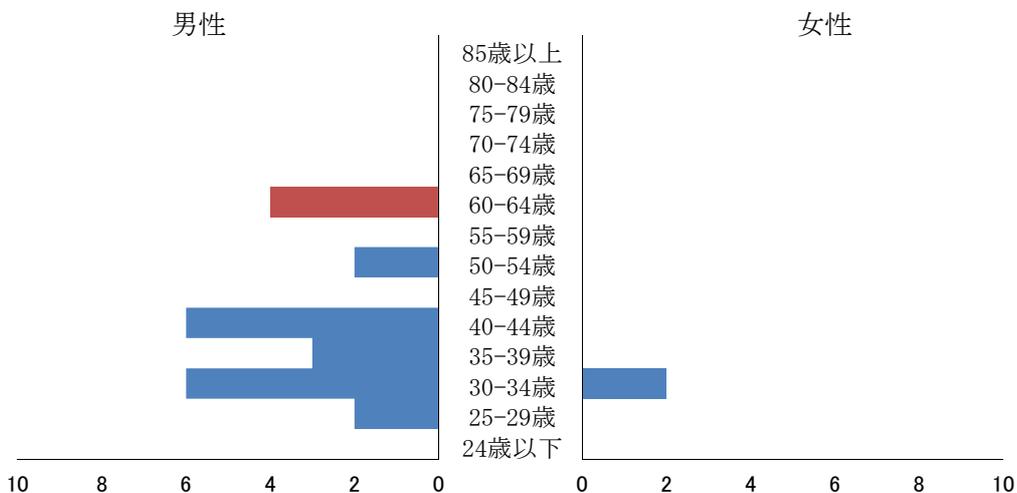
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 上五島医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	22,278	17,405	13,393	-8,885	-40%	-4,873	-22%	-4,012	-23%	
医療施設勤務医師数	29	29	32	3	10%	0	0%	3	10%	
人口10万対	130.2	166.6	238.9	108.8	84%	36.4	28%	72.3	43%	
男性医師数	27	30	29	2	7%	3	11%	-1	-3%	
人口10万対	121.2	172.4	216.5	95.3	79%	51.2	42%	44.2	26%	
女性医師数	2	2	3	1	50%	0	0%	1	50%	
人口10万対	9.0	11.5	22.4	13.4	150%	2.5	28%	10.9	95%	
病院勤務医師数	20	19	20	0	0%	-1	-5%	1	5%	
人口10万対	89.8	109.2	149.3	59.6	66%	19.4	22%	40.2	37%	
診療所勤務医師数	9	6	6	-3	-33%	-3	-33%	0	0%	
人口10万対	40.4	34.5	44.8	4.4	11%	-5.9	-15%	10.3	30%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	11	11	12	1	9%	0	0%	1	9%
	35-49歳	11	11	11	0	0%	0	0%	0	0%
	50-64歳	5	6	9	4	80%	1	20%	3	50%
	65歳以上	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
男性	24-34歳	10	10	8	-2	-20%	0	0%	-2	-20%
	35-49歳	10	13	13	3	30%	3	30%	0	0%
	50-64歳	5	6	8	3	60%	1	20%	2	33%
	65歳以上	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
女性	24-34歳	1	1	2	1	100%	0	0%	1	100%
	35-49歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	50-64歳	0	0	0	0		0		0	
	65歳以上	0	0	0	0		0		0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	11	11	12	1	9%	0	0%	1	9%
	35-49歳	8	7	7	-1	-13%	-1	-13%	0	0%
	50-64歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	65歳以上	0	0	0	0		0		0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	3	0	0	-3	-100%	-3	-100%	0	
	50-64歳	4	5	6	2	50%	1	25%	1	20%
	65歳以上	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
	85歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 吉岐医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は7,986人(-23%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は4人(-9%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は159人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は18%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

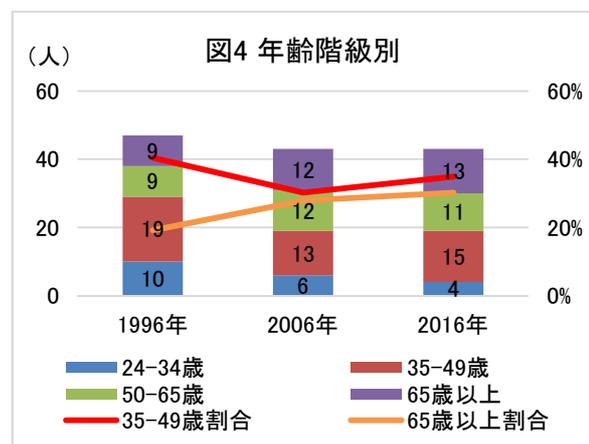
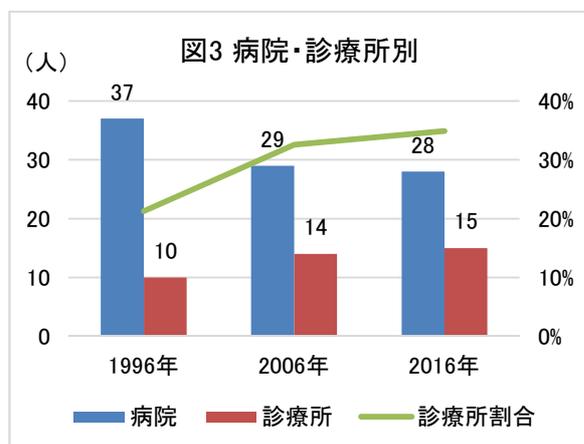
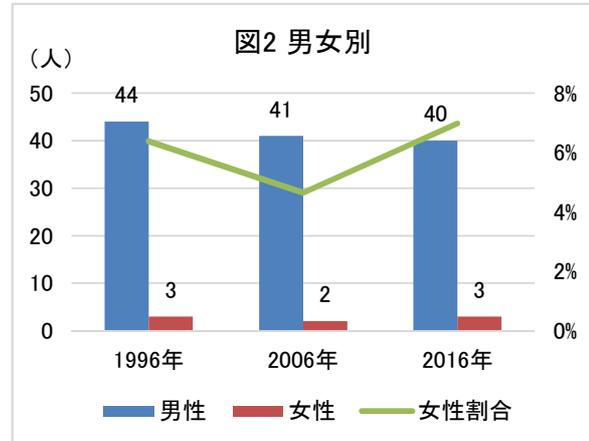
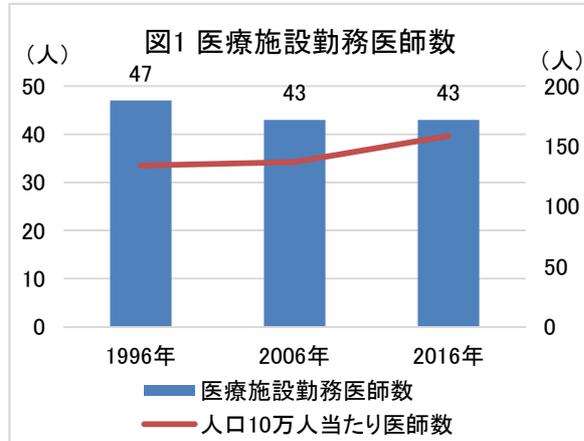
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて4人(-9%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に増減がなく、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は7%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて9人(-24%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に5人(50%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は35%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は4人(-21%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて4人(44%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年19%、2016年30%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 吉岐医療圏

### 表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	35,089	31,414	27,103	-7,986	-23%	-3,675	-10%	-4,311	-14%	
総医師数	52	45	45	-7	-13%	-7	-13%	0	0%	
人口10万対	148.2	143.2	166.0	17.8	12%	-4.9	-3%	22.8	16%	
医療施設勤務医師数	47	43	43	-4	-9%	-4	-9%	0	0%	
人口10万対	133.9	136.9	158.7	24.7	18%	2.9	2%	21.8	16%	
男性医師数	44	41	40	-4	-9%	-3	-7%	-1	-2%	
人口10万対	125.4	130.5	147.6	22.2	18%	5.1	4%	17.1	13%	
女性医師数	3	2	3	0	0%	-1	-33%	1	50%	
人口10万対	8.5	6.4	11.1	2.5	29%	-2.2	-26%	4.7	74%	
病院勤務医師数	37	29	28	-9	-24%	-8	-22%	-1	-3%	
人口10万対	105.4	92.3	103.3	-2.1	-2%	-13.1	-12%	11.0	12%	
診療所勤務医師数	10	14	15	5	50%	4	40%	1	7%	
人口10万対	28.5	44.6	55.3	26.8	94%	16.1	56%	10.8	24%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.1	54.6	54.3	6.2	13%	6.4	13%	-0.2	0%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	10	6	4	-6	-60%	-4	-40%	-2	-33%
	35-49歳	19	13	15	-4	-21%	-6	-32%	2	15%
	50-64歳	9	12	11	2	22%	3	33%	-1	-8%
	65歳以上	9	12	13	4	44%	3	33%	1	8%
	75歳以上(再掲)	3	6	4	1	33%	3	100%	-2	-33%
男性	24-34歳	9	6	3	-6	-67%	-3	-33%	-3	-50%
	35-49歳	17	11	14	-3	-18%	-6	-35%	3	27%
	50-64歳	9	12	10	1	11%	3	33%	-2	-17%
	65歳以上	9	12	13	4	44%	3	33%	1	8%
	75歳以上(再掲)	3	6	4	1	33%	3	100%	-2	-33%
女性	24-34歳	1	0	1	0	0%	-1	-100%	1	
	35-49歳	2	2	1	-1	-50%	0	0%	-1	-50%
	50-64歳	0	0	1	1		0		1	
	65歳以上	0	0	0	0		0		0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	10	5	4	-6	-60%	-5	-50%	-1	-20%
	35-49歳	16	9	11	-5	-31%	-7	-44%	2	22%
	50-64歳	8	8	6	-2	-25%	0	0%	-2	-25%
	65歳以上	3	7	7	4	133%	4	133%	0	0%
	75歳以上(再掲)	1	2	3	2	200%	1	100%	1	50%
診療所	24-34歳	0	1	0	0		1		-1	-100%
	35-49歳	3	4	4	1	33%	1	33%	0	0%
	50-64歳	1	4	5	4	400%	3	300%	1	25%
	65歳以上	6	5	6	0	0%	-1	-17%	1	20%
	75歳以上(再掲)	2	4	1	-1	-50%	2	100%	-3	-75%
	85歳以上(再掲)	0	1	1	1		1		0	0%

## 吉岐医療圏

### <医師数の推移>

吉岐医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、整形外科、眼科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	47	133.9	44	43	136.9	41	43	158.7	41	-4	-9%	24.7	18%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	26	74.1	50	24	76.4	49	23	84.9	49	-3	-12%	10.8	15%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	3	8.5	45	2	6.4	38	3	11.1	46	0	0%	2.5	29%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	2	5.7	44	3	9.5	50	2	7.4	41	0	0%	1.7	29%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	9	25.6	55	6	19.1	51	2	7.4	34	-7	-78%	-18.3	-71%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	0	0.0	32	0	0.0	29	0	0.0	28	0	0%	0.0	0%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	2	5.7	35	2	6.4	33	5	18.4	53	3	150%	12.7	224%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	1	2.8	43	0	0.0	31	1	3.7	40	0	0%	0.8	29%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	1	2.8	37	1	3.2	34	3	11.1	52	2	200%	8.2	288%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	1	2.8	38	1	3.2	38	1	3.7	38	0	0%	0.8	29%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	0	0.0	32	1	3.2	43	0	0.0	28	0	0%	0.0	0%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	2	5.7	40	3	9.5	51	2	7.4	44	0	0%	1.7	29%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	0	0.0	36	1	3.7	42	1	3%	3.7	3%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	40	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

吉岐医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は6,880人(-25%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は11人(-26%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は158人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は0%減り、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

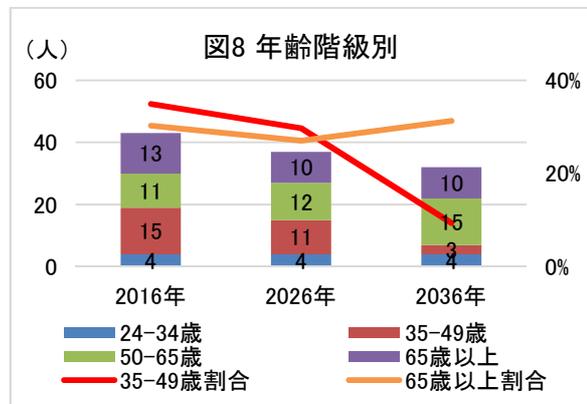
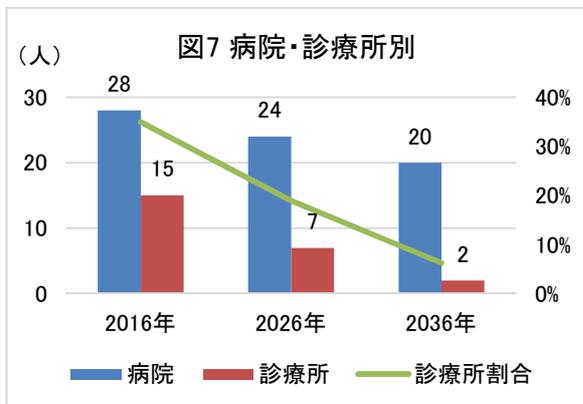
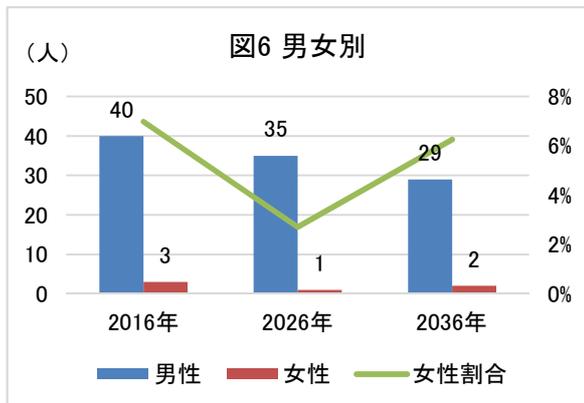
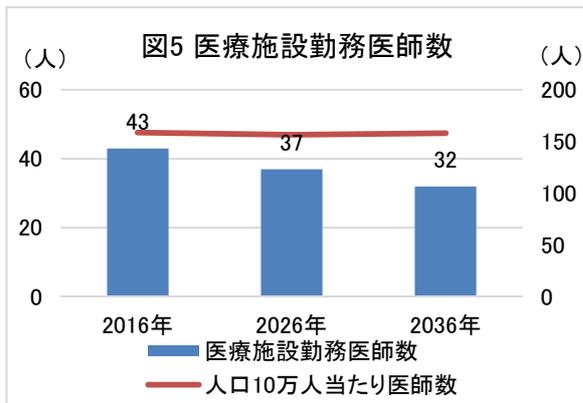
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて11人(-28%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に1人(-33%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は6%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて8人(-29%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に13人(-87%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は6%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は12人(-80%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて3人(-23%)減り、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年30%、2036年31%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



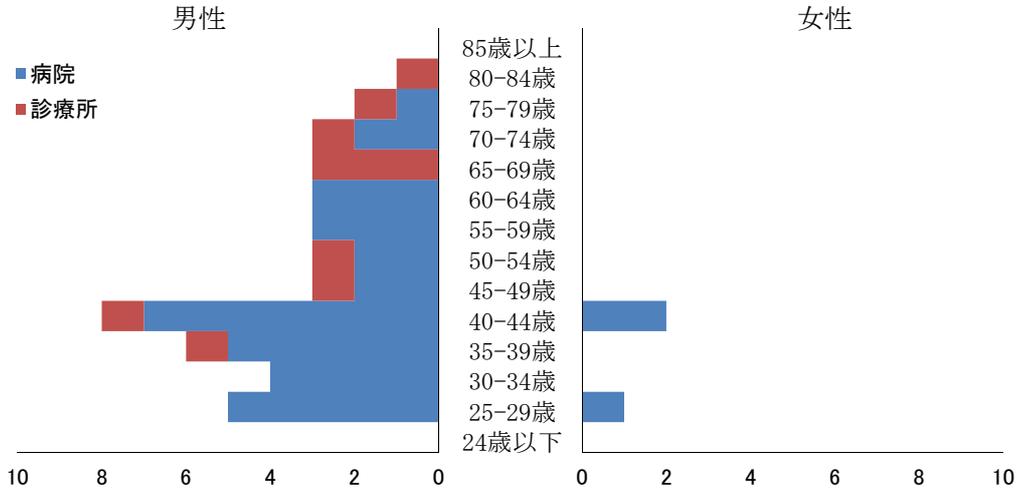
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

吉岐医療圏

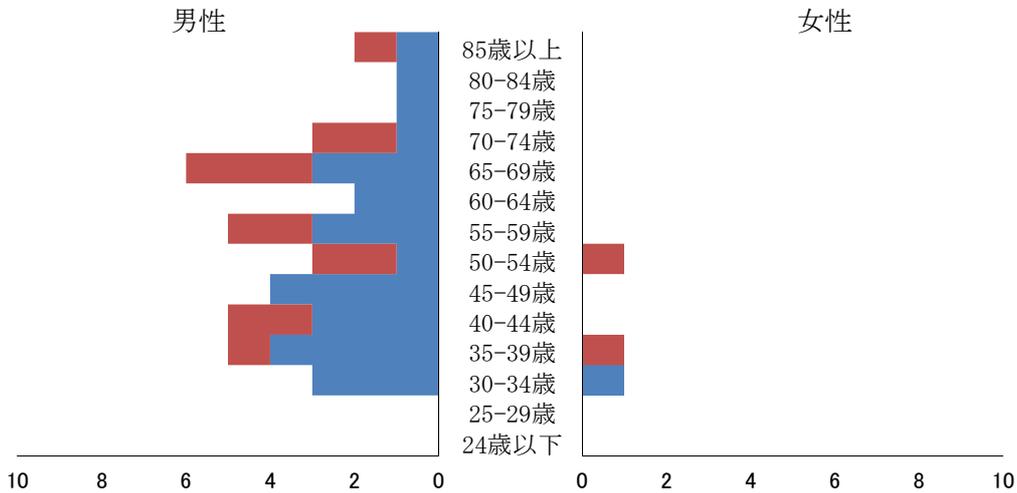
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

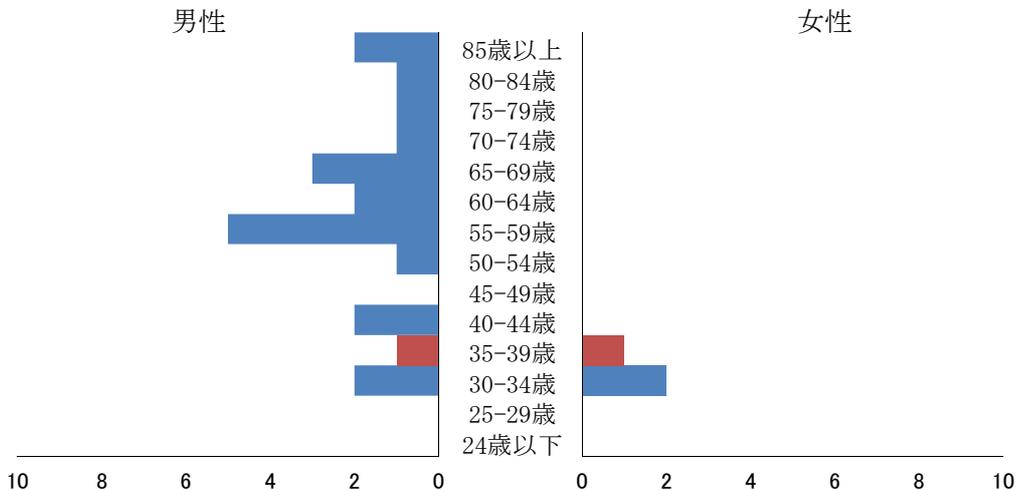
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 吉岐医療圏

### 表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	27,103	23,617	20,223	-6,880	-25%	-3,486	-13%	-3,394	-14%	
医療施設勤務医師数	43	37	32	-11	-26%	-6	-14%	-5	-14%	
人口10万対	158.7	156.7	158.2	-0.4	0%	-2.0	-1%	1.6	1%	
男性医師数	40	35	29	-11	-28%	-5	-13%	-6	-17%	
人口10万対	147.6	148.2	143.4	-4.2	-3%	0.6	0%	-4.8	-3%	
女性医師数	3	1	2	-1	-33%	-2	-67%	1	100%	
人口10万対	11.1	4.2	9.9	-1.2	-11%	-6.8	-62%	5.7	134%	
病院勤務医師数	28	24	20	-8	-29%	-4	-14%	-4	-17%	
人口10万対	103.3	101.6	98.9	-4.4	-4%	-1.7	-2%	-2.7	-3%	
診療所勤務医師数	15	7	2	-13	-87%	-8	-53%	-5	-71%	
人口10万対	55.3	29.6	9.9	-45.5	-82%	-25.7	-46%	-19.7	-67%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	4	4	4	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	15	11	3	-12	-80%	-4	-27%	-8	-73%
	50-64歳	11	12	15	4	36%	1	9%	3	25%
	65歳以上	13	10	10	-3	-23%	-3	-23%	0	0%
	75歳以上(再掲)	4	4	3	-1	-25%	0	0%	-1	-25%
男性	24-34歳	3	3	2	-1	-33%	0	0%	-1	-33%
	35-49歳	14	10	3	-11	-79%	-4	-29%	-7	-70%
	50-64歳	10	12	15	5	50%	2	20%	3	25%
	65歳以上	13	10	9	-4	-31%	-3	-23%	-1	-10%
	75歳以上(再掲)	4	4	3	-1	-25%	0	0%	-1	-25%
女性	24-34歳	1	1	2	1	100%	0	0%	1	100%
	35-49歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	50-64歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	65歳以上	0	0	0	0		0		0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	4	4	4	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	11	7	2	-9	-82%	-4	-36%	-5	-71%
	50-64歳	6	6	7	1	17%	0	0%	1	17%
	65歳以上	7	7	7	0	0%	0	0%	0	0%
	75歳以上(再掲)	3	4	4	1	33%	1	33%	0	0%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	4	2	2	-2	-50%	-2	-50%	0	0%
	50-64歳	5	3	0	-5	-100%	-2	-40%	-3	-100%
	65歳以上	6	2	0	-6	-100%	-4	-67%	-2	-100%
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	85歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 対馬医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は12,056人(-28%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は4人(9%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は156人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は51%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

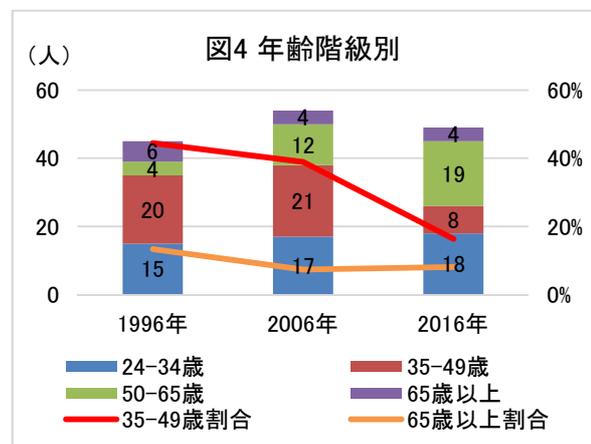
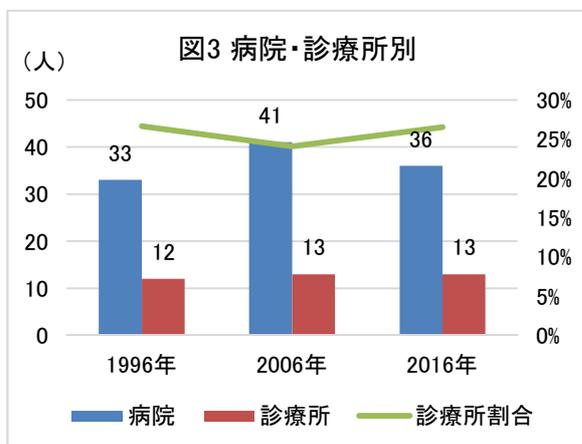
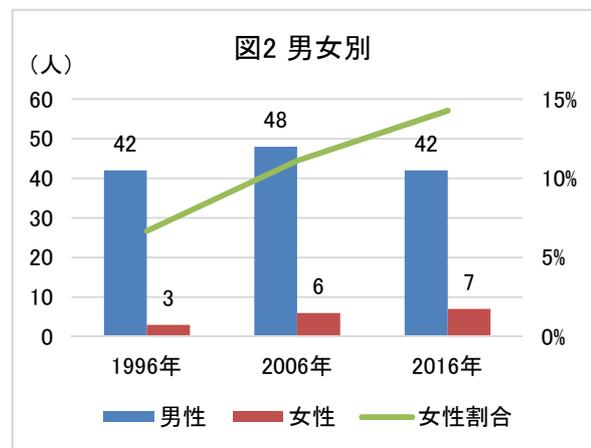
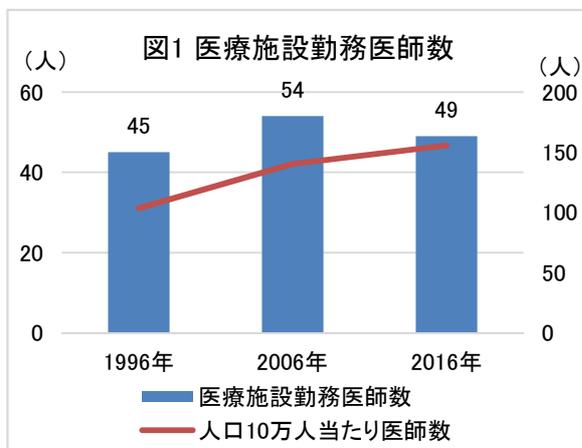
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて増減がなく、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に4人(133%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は14%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて3人(9%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に1人(8%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は27%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は12人(-60%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて2人(-33%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年13%、2016年8%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 対馬医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	43,513	38,481	31,457	-12,056	-28%	-5,032	-12%	-7,024	-18%	
総医師数	46	56	51	5	11%	10	22%	-5	-9%	
人口10万対	105.7	145.5	162.1	56.4	53%	39.8	38%	16.6	11%	
医療施設勤務医師数	45	54	49	4	9%	9	20%	-5	-9%	
人口10万対	103.4	140.3	155.8	52.4	51%	36.9	36%	15.4	11%	
男性医師数	42	48	42	0	0%	6	14%	-6	-13%	
人口10万対	96.5	124.7	133.5	37.0	38%	28.2	29%	8.8	7%	
女性医師数	3	6	7	4	133%	3	100%	1	17%	
人口10万対	6.9	15.6	22.3	15.4	223%	8.7	126%	6.7	43%	
病院勤務医師数	33	41	36	3	9%	8	24%	-5	-12%	
人口10万対	75.8	106.5	114.4	38.6	51%	30.7	40%	7.9	7%	
診療所勤務医師数	12	13	13	1	8%	1	8%	0	0%	
人口10万対	27.6	33.8	41.3	13.7	50%	6.2	22%	7.5	22%	
医療施設勤務医 平均年齢	43.4	45.2	46.8	3.4	8%	1.7	4%	1.7	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	15	17	18	3	20%	2	13%	1	6%
	35-49歳	20	21	8	-12	-60%	1	5%	-13	-62%
	50-64歳	4	12	19	15	375%	8	200%	7	58%
	65歳以上	6	4	4	-2	-33%	-2	-33%	0	0%
	75歳以上(再掲)	2	3	1	-1	-50%	1	50%	-2	-67%
男性	24-34歳	14	14	14	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	19	20	7	-12	-63%	1	5%	-13	-65%
	50-64歳	4	11	18	14	350%	7	175%	7	64%
	65歳以上	5	3	3	-2	-40%	-2	-40%	0	0%
	75歳以上(再掲)	2	2	0	-2	-100%	0	0%	-2	-100%
女性	24-34歳	1	3	4	3	300%	2	200%	1	33%
	35-49歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	50-64歳	0	1	1	1		1		0	0%
	65歳以上	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	75歳以上(再掲)	0	1	1	1		1		0	0%
病院	24-34歳	15	16	18	3	20%	1	7%	2	13%
	35-49歳	16	18	6	-10	-63%	2	13%	-12	-67%
	50-64歳	2	7	12	10	500%	5	250%	5	71%
	65歳以上	0	0	0	0		0		0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
診療所	24-34歳	0	1	0	0		1		-1	-100%
	35-49歳	4	3	2	-2	-50%	-1	-25%	-1	-33%
	50-64歳	2	5	7	5	250%	3	150%	2	40%
	65歳以上	6	4	4	-2	-33%	-2	-33%	0	0%
	75歳以上(再掲)	2	3	1	-1	-50%	1	50%	-2	-67%
	85歳以上(再掲)	0	1	1	1		1		0	0%

## 対馬医療圏

## ＜医師数の推移＞

対馬医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、小児科、精神科、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、内科(総数)、精神科、眼科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	45	103.4	40	54	140.3	42	49	155.8	41	4	9%	52.4	51%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	16	36.8	39	23	59.8	44	24	76.3	46	8	50%	39.5	107%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	3	6.9	41	4	10.4	48	3	9.5	43	0	0%	2.6	38%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	2	4.6	41	3	7.8	46	3	9.5	45	1	50%	4.9	107%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	7	16.1	45	9	23.4	58	5	15.9	46	-2	-29%	-0.2	-1%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	1	2.3	41	0	0.0	29	0	0.0	28	-1	-100%	-2.3	-100%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	6	13.8	51	5	13.0	46	6	19.1	54	0	0%	5.3	38%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	0	0.0	34	1	2.6	39	0	0.0	30	0	0%	0.0	0%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	1	2.3	36	2	5.2	39	2	6.4	40	1	100%	4.1	177%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	1	2.3	37	2	5.2	44	1	3.2	37	0	0%	0.9	38%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	1	2.3	42	1	2.6	40	0	0.0	28	-1	-100%	-2.3	-100%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	5	11.5	54	3	7.8	46	3	9.5	48	-2	-40%	-2.0	-17%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	1	2.6	46	1	3.2	45	1	0%	3.2	0%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	0	0.0	36	1	3.2	41	1	0%	3.2	0%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	4.6	50	0	0.0	40	0	0.0	37	-2	-100%	-4.6	-100%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 対馬医療圏

## ＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は11,165人(-35%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は15人(-31%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は168人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は8%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

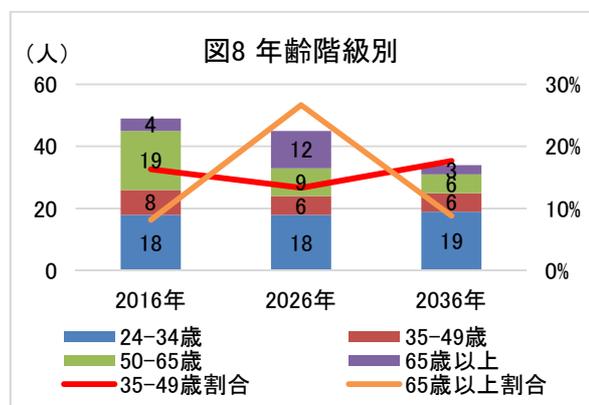
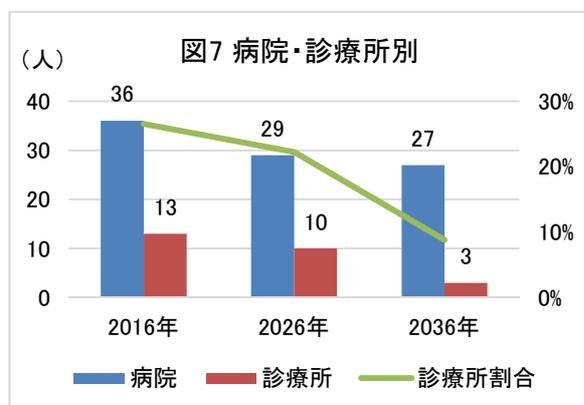
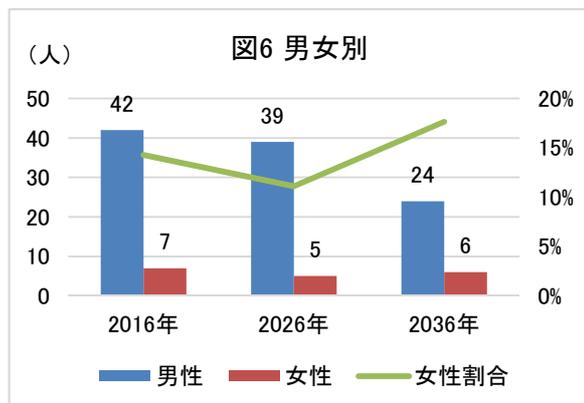
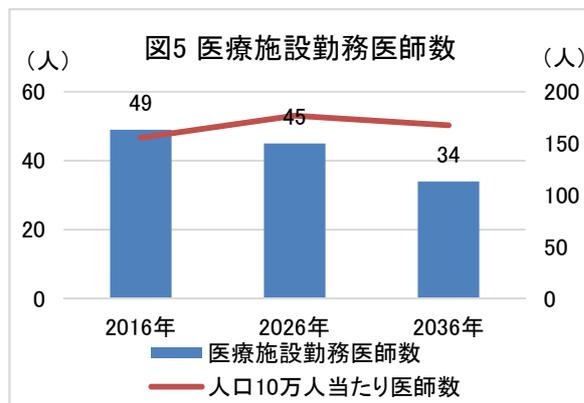
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて18人(-43%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に1人(-14%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は18%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて9人(-25%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に10人(-77%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は9%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は2人(-25%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて1人(-25%)減り、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年8%、2036年9%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



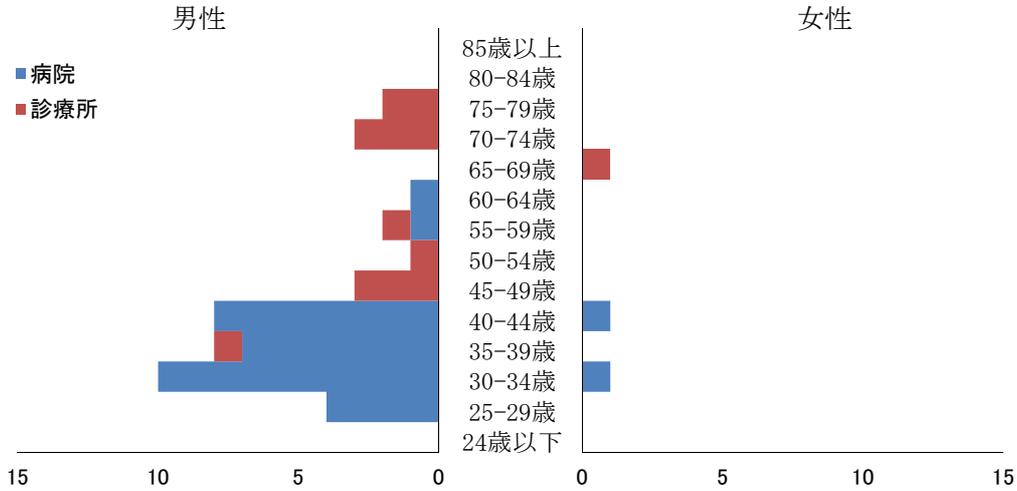
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 対馬医療圏

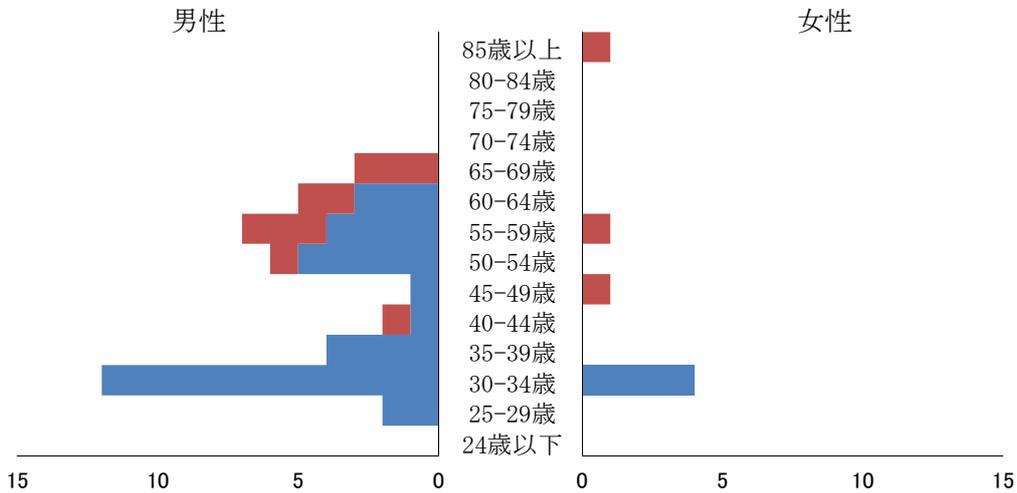
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

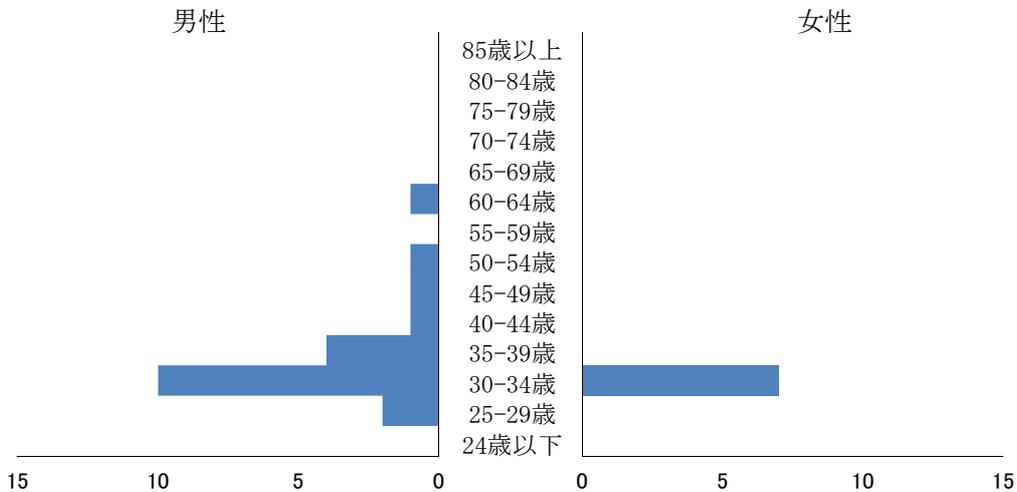
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 対馬医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	31,457	25,418	20,292	-11,165	-35%	-6,039	-19%	-5,126	-20%	
医療施設勤務医師数	49	45	34	-15	-31%	-4	-8%	-11	-24%	
人口10万対	155.8	177.0	167.6	11.8	8%	21.3	14%	-9.5	-5%	
男性医師数	42	39	24	-18	-43%	-3	-7%	-15	-38%	
人口10万対	133.5	153.4	118.3	-15.2	-11%	19.9	15%	-35.2	-23%	
女性医師数	7	5	6	-1	-14%	-2	-29%	1	20%	
人口10万対	22.3	19.7	29.6	7.3	33%	-2.6	-12%	9.9	50%	
病院勤務医師数	36	29	27	-9	-25%	-7	-19%	-2	-7%	
人口10万対	114.4	114.1	133.1	18.6	16%	-0.3	0%	19.0	17%	
診療所勤務医師数	13	10	3	-10	-77%	-3	-23%	-7	-70%	
人口10万対	41.3	39.3	14.8	-26.5	-64%	-2.0	-5%	-24.6	-62%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	18	18	19	1	6%	0	0%	1	6%
	35-49歳	8	6	6	-2	-25%	-2	-25%	0	0%
	50-64歳	19	9	6	-13	-68%	-10	-53%	-3	-33%
	65歳以上	4	12	3	-1	-25%	8	200%	-9	-75%
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
男性	24-34歳	14	14	12	-2	-14%	0	0%	-2	-14%
	35-49歳	7	6	5	-2	-29%	-1	-14%	-1	-17%
	50-64歳	18	8	6	-12	-67%	-10	-56%	-2	-25%
	65歳以上	3	11	1	-2	-67%	8	267%	-10	-91%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
女性	24-34歳	4	4	6	2	50%	0	0%	2	50%
	35-49歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	50-64歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	65歳以上	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
	75歳以上(再掲)	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
病院	24-34歳	18	18	19	1	6%	0	0%	1	6%
	35-49歳	6	6	6	0	0%	0	0%	0	0%
	50-64歳	12	5	2	-10	-83%	-7	-58%	-3	-60%
	65歳以上	0	0	0	0		0		0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
	50-64歳	7	4	0	-7	-100%	-3	-43%	-4	-100%
	65歳以上	4	6	3	-1	-25%	2	50%	-3	-50%
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	85歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)